平成 29 年度 活動報告書

平成 30 年 1 月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部 総務部会 若手技術者の会



We will innovate the Civil engineering Consultants.

目次

1. 活動	助概要	5 Z	1
1.1	目台	១	1
1.2	活動	加内容	2
2. 活動	助結身	₹	3
2.1	生產	E性向上 WG	3
2.2	業界	₹ PRWG	5
2.2	2.1	土木学会夏休み土木実験教室への参加	5
2.2	2.2	パスタブリッジコンテストの開催	7
2.2	2.3	建設技術フォーラム 2017in 広島への出展	10
2.2	2.4	リクルート用資料の作成	14
2.3	若哥	手技術者交流会 in 中国の開催(合宿 WG)	22
2.4	その	D他活動	46
2.4	l.1	本部若手の会との交流	46
2.4	ł.2	リクルート活動	49
2.4	1.3	防災教育出前講座(防災委員会)	63
参考資料	斗		
1. >	メンノ	N覧(平成 28 年 11 月~平成 30 年 1 月)	参考-1
2. 🕽	学例学	s議事録	参考-2

1. 活動概要

1.1 目的

建設コンサルタンツ協会本部では、総務委員会の WG として「業界展望を考える若手技術者の会(通称:本部若手の会)」を平成27年4月に設立し、若手技術者が業界の諸問題や将来像、改善行動について議論を交わし、魅力ある建設コンサルタント業界を実現するために行動することを目的として活動しています。また、平成28年度までに北陸支部(平成27年8月)、関東支部(平成27年12月)、九州支部(平成28年5月)、近畿支部(平成28年10月)の若手技術者との交流会を開催しています。

中国支部においても、魅力ある建設コンサルタント業界を実現するために、若手技術者が 集い、業界の将来像や担い手確保などについて議論する場として、平成 28 年 11 月に「若 手技術者の会」を設立しました。中国支部の会員企業に属する若手技術者のメンバーで、「生 産性向上」、「業界 PR」をテーマに活動を進めています。

1.2 活動内容

今年度は本部若手の会との交流会を中国支部で開催することが予定されていたため、生産性向上WG、業界PRWG、合宿WGの3WGにわかれて活動を実施しました。以下に活動概要を示します。

平成 28 年 11 月の設立後、定例会議を 9 回実施したほか、本会主催での本部若手の会 との交流を 1 回、建設技術フォーラムでの業界 PR、総務部会が実施しているリクルート活 動への同行等、様々な活動を実施しました。

活動概要(設立(平成28年11月)~平成30年1月)

日程	項目	主な内容
H28.11.24(木)	第 1 回定例会	・顔合わせ、テーマ出し、役職決定
H28.12.16(金)	第2回定例会	・活動グループ(WG)及び WG リーダー決定
H29.1.16(月) ~2.2(木)	リクルート活動	・大学・高専 7 校訪問
H29.1.25(水)	土木学会若手技術者交流会	・土木学会若手パワーアップ委員会との交流
H29.4.3(月)	全国大会打合せ	・全国大会プレゼン打合せ
H29.4.7(金)	若手技術者の会全国大会	・若手技術者の会全国大会(東京)でプレゼン
H29.4.21(金)	第3回定例会	• WG 活動内容討議
H29.6.23(金)	第4回定例会	・交流会詳細決定 ・生産性向上アンケート調査結果の紹介 ・リクルート用業界説明資料作成について
H29.8,2(水)	第5回定例会	・交流会現地見学会内容について決定 ・業務効率化表彰に関するアンケートを実施 ・土木学会イベント・パスタブリッジコンテスト 準備
H29.8.7(月)	土木学会夏休み土木実験教室	・土木学会中国支部主催のイベントにスタッフとして参加・コンクリートの種類と作り方についての実験(参加者40名)
H29.8.23(水)	パスタブリッジコンテスト (於 中電技術コンサルタント)	・次年度のイベントの予行練習として社員の子供 を対象にパスタブリッジを作成
H29.9.13(水)	第6回定例会	防災員会青原委員長による出前講座の説明交流会での発表内容確認
H29.10.17(火)	第7回定例会	• 交流会、建設技術フォーラム内容確認
H29.10.27(金) ~28(土)	若手技術者交流会 in 中国	・本部、支部代表者、中国支部公募の計60名でグループディスカッションを実施・8.20広島土砂災害復旧現場を見学
H29.11.10(金) ~11(土)	建設技術フォーラム出展	・若手技術者の会のプースを出展
H29.11.28(火)	第8回定例会	・HP リニューアル検討委員会より HP 運営方法 等について説明 ・次年度活動内容についてアイデア出し
H29.12.18(月)	防災教育出前講座(防災委員会)	・三入小学校における防災教育出前講座の補助
H29.12.21(木)	第9回定例会	・ 今年度活動総括及び次年度活動計画について
H30.1.23(火) ~30(火)	リクルート活動	・大学・高専 7 校訪問

2. 活動結果

2.1 生産性向上 WG

平成 27 年度の建設コンサルタント職員 1 人当たりの売上高は 1,870 万円で、前年度 (1,910 万円)と比べ 2.1%減少し、生産性が下がる結果となりました。

職員数は平成22年度以降増加傾向に転じているものの、平均年齢は45.5歳となったことで近い将来建設コンサルタントは著しい高齢化業界となることが予想されます。

これには直近3年間の離職者の約50%が20~30代で、離職理由として労働時間に関する不満が多くみられることが一因と推測されます。

生産性向上 WG では、建設コンサルタント業界が抱える問題点の一つである生産性の低さにスポットを当て、生産性を向上することで、魅力ある仕事、魅力ある業界を実現しようと設立されました。

○活動概要

●生産性の定義

アウトプット: 成果

インプット: 労働力(人件費、資材費等のコスト)

生産性を上記のように定義すると、生産性を向上するためには

アウトプット(成果の価値)を上げるか、インプット(コスト)を下げる必要があります。

(例)アウトプットの向上対策・・・受発注者間の認識のずれ(手戻り)を無くすことや

人的ミスの防止

インプットの低減対策・・・業務の機械化や分業化など、労働資本の最適配分

以上を念頭に当WGメンバーで情報収集および検討を行った上で、今年度実施した了回の定例会に際し、議論を行いました。実施した内容については以下の通りです。

項目	目的
他業種の事例収集	他業種での成功例を収集し、当業界で模倣出来る事例が無いかひも解く
社内表彰制度の ヒアリング	社員のモチベーション向上に寄与するような表彰制度について 建設コンサルタンツ協会各社にアンケートを実施
	社員のモチベーション向上や業務の効率化に関する取組について 建設コンサルタンツ協会各社にアンケートを実施
受発注間における Web会議導入の検討	業務の効率化(移動時間の削減)を目的とし、受発注者間で導入する際の 課題について検討

○次年度以降の活動目標

今年度の活動を踏まえ、次年度以降の活動として以下を計画しています。

項目	目的	
生産性向上に関する	中国支部会員企業の委員の生産性向上に向けた意識	
講演会の開催	啓発につながる	
社員のモチベーション向上につな がる取組事例の紹介	モチベーション向上につながる取組を収集し、アン ケート対象を広げ、他業界も含めアンケートを実施 (可能であれば、協会に展開する)	
Web会議の実現にむけた国交省	Web会議システムを使用されている官公庁に対し	
との意見交換会の実施等	て、業務の受発注者間で導入するための課題を探る	

建コン若手の会生派性向上 WG

参考資料:各社の社内表彰制度についてのヒアリング結果

①客先からの表彰を受けたグループ・社員を表彰する制度 (基準の主体が社外にある場合)

非影响文化	お使り機能	E.P	2000 · 四极点:	- COB
	図土交通省及び商本省、図土地用図、 オフスド等の資料を受けたデループ を資料する。	遊倒を受けた業務や個人。	「民用等の資金制度がない機関 の業務」に無わっている高管への 配連が必集。	
RRIFEAU	発注者より高い評価を得た業務について、生然お客を書配する制度	業務評定点 100 点以上とするが、特別な場合を除き、 が選挙が著しく高い業務は対象外	時になし	物になし
被 男社員 去 彰	the second secon	1) 官当庁等発出者から、業務成果に対して表彰される等社員として書楽に続くる者 の等社員として書楽に続くる者 2) 学会等社長を持たし、業務成業または投稿職文が表彰される等社員として書新に献する好品をかた者 2) 企作地外に書談に載する好為のあった者 ②会社に大きな機関を集ますような言葉を未然に助ってような行いのあった者 ②社員として当然の書談によわけ為により会社に顕著なる利益として当然の書談した。	というイメージが強い ・民間実践が主の部署については お言様実施が主の部署について対 ある。申請が少ないため、公平	
社具物化原制	1年に1度、自分体から表彰の払った業務あるいに計作機自の概点から、自社の業績に貢献したと思われる業務を責むする制度			都を受けた責託に関って 他内書都となっていた。 間交害業務は、業務内容 によって特定の開業のみ 一の書都に振られてしま
優秀社員質	基礎の強化や会社の信仰の向上に書 与し、会社経営に多大の貢献をした	○限交響から、産自業務時利団体からいは優秀権設 技術者に対する時間を表彰を受けた。 受経動士資格を取得した。 受制整工力し業務上有益な特許又は毎明もしくは希 集をした。 ②原行などの業帯な仕み表彰を受賞した。		-

2.2 業界 PRWG

業界 PRWG では、魅力ある建設コンサルタント業界を実現するために、担い手の確保や 入職者増につながるような PR 活動に取り組んでいます。

今年度は、小学生~中学生向けのイベントや展示会等において業界の PR 活動を実施しました。

対象	目的	活動内容	備考
		土木学会夏休み土木実験教室	土木学会主催
小中学生	遊びを通して、土木や建コン業界のことを知ってもらう	パスタブリッジコンテスト	会員企業の社内 イベントの一環 として実施
大学生•高校生	学生と直接話をし、若手技術者の目線 から建コン業界の魅力を PR する	リクルート活動	⇒2.4.2 参照
一般	親子連れを対象に広く建コン業界を PR する	建設技術フォーラム出展	

2.2.1 土木学会夏休み土木実験教室への参加

(公社) 土木学会中国支部が開催する『土木学会夏休み土木実験教室』に 4 名がスタッフとして参加し、コンクリートの作成ついて実験を行いました。

■日 時:2017年8月7日(月) 9:00~16:00

■場 所:東広島市芸術文化ホールくらら(東広島市中区基町)

■対 象:小学3年生~中学1年生の40名(教育委員会を通じて公募)

■主 催:(公社) 土木学会中国支部(協力:建コン中国支部)

■内 容:コンクリートの種類と作り方についての実験

■備 考:(公社)土木学会中国支部主催のイベントにスタッフとして参加(4名)

■会場の様子



【コンクリート構造物に関する説明】



【水中コンクリートの説明】

■タイムスケジュール

時刻	内容	担当	備考
9:00	集合 会場設営(養生 床:ブルーシート、机:新聞紙)		
9:40	リハーサル開始		
11:45	(休憩)		
12:30	グループ①受付開始 受付、案内		
13:00	実験・グループ① ①あいさつ 5分 ②コンクリートとは ppt 説明 10分 ③実験の説明 5分 ④実験 60分 ・水中コンクリート 比較実験 15分 ・計量・ねりまぜ 2種類 40分 ⑤まとめ・アンケート・レポート 10分	來山 平井 平井	20名
14:30	グループ②受付開始 受付、案内		
15:00	実験・グループ②	來山 平井 平井	20名
15:30	片付け・反省会		

【気づき、反省等】

- コンクリートに関する実験は、材料等の準備物が多い。また、取扱いについても注意する必要があるため、実施できる会場が限られる。
- ・会場に入れる人数が限られるため、親が入室できない。結果として、子供 2~3 名に対して 1 名のスタッフが必要となる。
- 砂等が目に入らないよう安全対策が必要となる。ゴーグルや手袋等を配布したが、作業性が悪い等、ネックになっている。
- 年齢によって進捗が大きく異なる。対象をある程度しぼったクラス分けとした方がイベントの運営が容易と考える。

2.2.2 パスタブリッジコンテストの開催

2018 年度に実施予定のイベントに向け、会員企業において『パスタブリッジコンテスト』を開催しました。

■日 時:2017年8月23日(水) 14:00~15:30

■場 所:中電技術コンサルタント株式会社(広島市南区出汐) ■対 象:親子4組(子供:小学1年生~中学1年生の5名)

■内 容:橋梁の説明、パスタブリッジの作成

■備 考:中電技術コンサルタントの社内イベントの一環として実施

■会場の様子



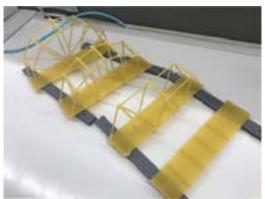
【橋梁の強さの秘密に関する説明】



【パスタブリッジ作成の様子】



【荷重試験の様子】



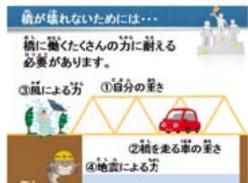
【パスタブリッジの見本】

【気づき、反省等】

- ・設計図を配布し、事前にパスタをカットしておく等、可能な限りの準備をしたが、製作には 70 分程度を所要した。準備内容やタイムスケジュールを見直す必要がある。
- ・ホットボンド使用時にやけどの恐れがある。実験内容の理解等も含め、対象年齢は小学3年生以上が適切と考えられる。
- ・設計図を配布した場合、強さの違いが施工の差になる。設計図を配布した上で+αの工夫を求めることで建コンの部分を PR する必要がある。

■説明資料

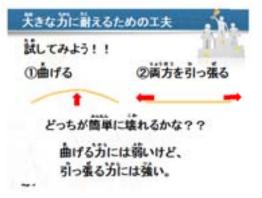


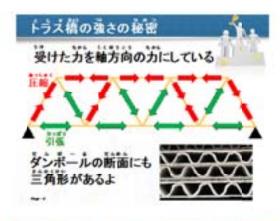














パスタで橋を作ってみよう

- ◆材料と道具
 - ・ゆでてないバスタ
 - ・ホットボンド ※あぶないので使うときは 大人の人にお願いしてね ・タシポール ※前にひいてね

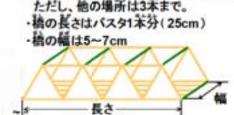
 - ・デーラ
 - ・はさみ

パスタで橋を作ってみよう

- **(1)**i_i, ♦
 - ・時間は60分まで。
 - ・チームで1つの稽を作るよ。
- ・みほんの橋(トラス・アーチ)の作り方を みてね。
- ・好きな形の橋を作ってもいいよ。

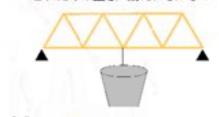
バスタで橋を作ってみよう

- → i i ②
 - ・一番下はバスタを何本東ねてもいいよ。 ただし、他の場所は3本まで。



最後にコンテストをやるよ

- ◆コンテスト
 - どれだけの重さに耐えれるかな?



2.2.3 建設技術フォーラム 2017in 広島への出展

『建設技術フォーラム 2017in 広島』に出展し、若手技術者の会の活動紹介を実施するとともに、身近なモノを用いた土木実験を通じた建コン業界の認知度向上を図りました。

■日 時:2017年11月10日(金) 10:00~16:00 2017年11月11日(土) 9:30~15:30

■場 所:広島中央公園(広島市中区基町)

■主 催:建設技術フォーラム実行委員会(事務局:国土交通省中国地方整備局企画部技術 管理課)

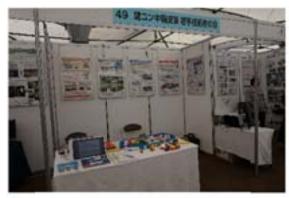
■内 容:パネル展示5枚、若手技術者紹介動画(リクルート用資料)、身近なモノを使った土木実験(パスタブリッジ他)

■備 考:建設技術の紹介(ブースによる出展、セミナー発表会)、基調講演(2題) ⇒屋内展示 72 件

【気づき、反省等】

- ・土木実験の資料(形による強さの違い、パスタブリッジ設計図等)は、子供連れの親からの反応(夏休みの宿題になる、分かり易い等)が思いのほか強く好評であった。
- ・足を止めてもらうためには実演と実体験が必要である。※出展ブースでパスタブリッジ の作成を実演し、ペットボトルの重りで壊すことも行った結果、上記のような好評を得 たと考えている。
- ・パスタブリッジ等の出展物が見やすいよう、ブースの全面に机を前に並べた結果、ポスターを読み難いレイアウトとなってしまった。また、若手技術者の紹介動画を流したものの、モニターが小さく、気づいてもらえていない可能性が大きい(PR 不足)。
- i-Construction というテーマを考慮し、ハンディースキャナーの実演を行ったが、機 械の不調もあり、アピールするまでには至っていない。
- ・来場者の多くは建設業界の関係者であり、業界 PRWG がターゲットと考えている世代 (就職を考える学生、土木に興味をもってもらいたい子供)は少ない。次年度以降に出 展する場合は、来場者を考慮した企画を考える等の対応が必要である。

■会場の様子



【ブースのレイアウト①】



【ブースのレイアウト②】



【厚紙を用いた形の違いによる強度の説明】



【ハンディスキャナーの展示】





【来場者への説明②】



【来場者への説明③】



【来場者への説明④】

■パネル展示











2.2.4 リクルート用資料の作成

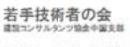
大学生や高専生の入職者を増加させるためには、リクルート活動の際に建設コンサルタント業界の魅力を PR することが必要です。また、就職した後、どのような仕事に携わっているのかを分かり易く伝え、やってみたいと思ってもらう必要があります。

そこで、若手技術者の目線で建コンの魅力を伝え、建コンで働きたいと思わせるリクルート 資料を作成しました。

■資料の構成

No.	項目	内容	備考
1	土木事業の一般的な流れ	・土木事業の大まかな流れと建コンの役割について説明	
2	建設コンサルタントで働く、 若き技術者たち。	・若手技術者を一覧で紹介	
3	各技術者の紹介	・技術者紹介・具体的な仕事の内容・夢、キャリアステップ、建コンの魅力等・ある週のスケジュール概略	技術者毎に作成

■リクルート用資料(2018.1.12版)



【建設コンサルタントで徴く、若き技術者たち】



建設コンサルタントで働く、若き技術者たち。



土木事業の一般的な流れ





↑ ^{株式}荒谷建設コンサルタント

エネルギーの視点で、 地域づくりをリードする!

■名前:浅野拓馬

■年齡:26歳(入社3年目)

■専門:エネルギー分野

■出身:滋賀県守山市

■趣味:映画鑑賞



地域動倒動事業やエリアマネジメントなど、計画分野を一 体となった「高」的なエネルギー計画を構めていきたい、 知られる技術者になるため、真の目を持って複雑的に効果 を投える力と、高朝に発信できる力を磨いていく。

■ 抽コンを選んだわけ

専門的な企場でハード/ソナの商品から企業位置したい。 ルルギー分割を通じて地域・大川に貢献したい。

専門家集組として行動に近い位置で、社会資献ができる。 ものづくりって楽しい!



WESCO 株式会社 ウエスコ

土木なくして

人々の生活は成り立たない!

- ■名前:八田 将希
- ■年齡:26歳(入社4年目)
- ■専門:道路設計分野
- ■出身:広島県
- ■戯味:ゴルフ



■夢、キャリアステップ

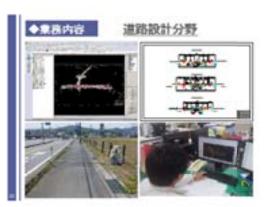
- 資格を持ち、安心して事業を任される技術者へ。 当面は、技術力とブレゼンテーション能力の向上。

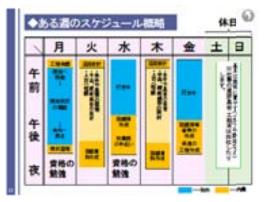
■ 建コンを選んだわけ

- 社会基礎整備を自分の手で行える。 いろんな分野があるということは、魅力もたくさん あるということ。

魅力は?

- コンサルタントの仕事は地図に残る。 ナ末業界無くして、生活は減り立たない。





wesco 株式会社 ウエスコ

廃棄物の"使い方"を創造し、 "捨て方"を立案する。

- ■名前:若松 恭一
- ■年齢:32歳(入社5年目)
- ■専門:廃棄物分野
- ■出身: 鹿児烏県
- ■趣味:飲みニケーション





■夢、キャリアステップ

- 原実験だけではなく、もっとマルテにジェネラルに、様々な 立場で動や会社と向き合っていきたい、(夢) 原実物・原実物人等一人事広報・広観経営・経営 (キャパアファン)

■建コンを選んだわけ

もともと文章(経済学部)出身ですが、漁業物専攻の教授 (元漁業物コンサルタント出身)とご誰があり、教授に紹介されたことがきっかけです。

■ 魅力は?

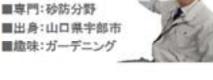
経済発展には、多量の適量物の発生が全にますが、コンサルでは、経済発展と環境保全の両立という課題を解決できることに魅力を感じます。



Qc 株式 宇部建設コンサルタント

頻発する土砂災害から 地域住民の命を守る!

- ■名前:長松 寛泰
- ■年齡:37歳(入社14年目)



■夢、キャリアステップ

- 全国各地で毎年1000件前後の土地贝書が発生しており、 多くの方々が福祉となっています。 砂助分野のブロフェッショナルとして、人々の明るいま来を 守るため、これからも安全・安心な社会の機関に貢献して

■建コンを選んだわけ

いきたいと思います。

大学時代は主に産業を挙びましたが、もっと自然を相手に した仕事をしてみたいと感じたのがきっかけです。

魅力は?

建コンの仕事は日常の安全と豊かな暮らしを支えています。 地域住民の「ありがとう」の声にやりがいを感じられます。





💋 株式会社エイト日本技術開発

港・海岸整備は、 鳥国日本にかかせない!

- ■名前:高木一般
- ■年齡:30歳(入社8年目)
- ■専門:港湾·海岸分野
- ■出身:岡山県倉敷市
- ■趣味:ロードバイク・ゴルフ

■夢、キャリアステップ

- ただ無蔑をこなすだけでなく、認識する事業全体が問題な で進めれるよう。お客様を長くサポートできる技術者。 専門分野だけでなく抜き関係等にも強くなる。

■建コンを選んだわけ

普原生活していて特に言葉することはなかったが、実は毎 日日にし、利用し、そして、守られていた・・・というインフラ に魅力を感じ、その数計をしたいと思ったから。

■魅力は?

- 留分が考え、様、小部高が、実際に出来上がったときの高が、 お客様が扱っていることを見つけ、サポートし、一緒に事業 を進めていく達成器。





シ シンワ技研コンサルタント 祭

社会インフラ整備で、 地域社会を支える!

■名前:笹間将平

■年齢:26歳(入社4年目)

■専門:土質·河川分野

■出身:鳥取県

■趣味:野球・ゴルフ



■夢、キャリアステップ

- 費格を取得し、一人の技術者として性能されること。 様々な知識を得て、幅広い視野を持った技術者になること

■建コンを選んだわけ

- 仕事を通じて地域に貢献できるため。 技術者として様々な境面で店屋できるため。

■魅力は?

自分が振わった仕事が別になり、范囲されることで、社会に 貢献していることを実際できる。







日本で一番信頼される、 橋梁設計会社を目指して!

- ■名前:大羽 裕之
- ■年齡:24歳(入社2年目)
- ■専門:構造保全分野
- ■出身:福岡県
- ■趣味:旅行



一事、キャリアステップ

年一年で出来ることを増やして、いつか長大橋 を設計すること

■独コンを選んだわけ

地間に残る仕事ということで魅力を感じたから。

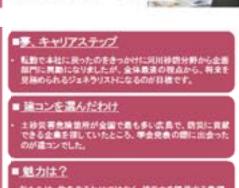
魅力は?

自分が設計・計画で採わったものが実際にできる





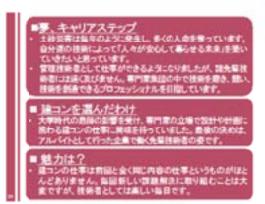










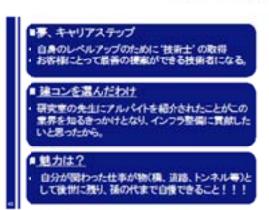








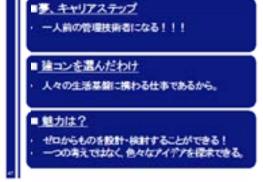














🤾 復建調査設計株式会社 道路計画の分野で、 社会資本整備に貢献! ■名前:森三千浩 ■年齡:37歳(人社11年前(中休人社15 ■専門:道路計画分野 ■出身:番川県 ■趣味:野球観戦

■夢、キャリアステップ

連路計画のプロフェッショナルとして、東接を運行するとと もに、仲間と切磋琢磨しながら、成長し続ける組織づくりを リードできる存在になる。

■建コンを選んだわけ

まちづくり、みちづくりに振わる仕事に従事したいという思いから、より専門的な技術者として范留できる建コンを志望。

魅力は?

- 計画という公共事業の上流分野に関わることでできる! 関わった仕事が別となり、地図に残る!

◆業務内容

道路計画分野

<業務内容の一例>

適品を資効果(ストック効果)検討・適路や交通のほか、地域の現状や課題、住民等の ニーズを把握・整理するとともに、道路整備によって 発現する効果を多面的に検討する。

・交通量調査や洗滑長調査をはじめとした道路交通調 査の結果などを禁に训路及び交通現況を把握し、交 通課題の要因分析を行い、必要な対策率(計画率)を 検討する。





2.3 若手技術者交流会 in 中国の開催(合宿 WG)

本部若手の会主催、中国支部若手技術者の会共催で「若手技術者交流会 in 中国」を開催しました。交流会を通して本部・支部間の若手技術者の交流を深めるとともに、中国支部特有の課題についてのディスカッションを実施しました。また、災害防止に貢献する若手技術者を育成していく上で、防災・減災に対して建設コンサルタントが果たす役割を考えるため、国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所協力のもと、8.20 広島土砂災害復旧現場における現地見学会を実施しました。

■日 時:2017年10月27日(金) 13:00~17:30(交流会) 18:30~21:00(懇親会)

2017年10月28日(土) 9:30~11:00 (現地見学会)

■場 所:交流会:合人社ウェンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ) 北棟 5 階 研修室 ABC

現地見学会:8.20 広島土砂災害復旧現場(広島市安佐南区八木地区周辺)

■参加者

支部	組織	参加者		
支部	大型 上 大型 上 大型 上 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工 工	交流会	懇親会	現地見学会
本部	業界展望を考える若手技術者の会*	17名	17名	13名
近畿支部	魅力発信委員会	1名	1名	1名
	男女共同参画委員会	1名	1名	1名
四国支部	若手の会	2名	2名	1名
中国支部	若手技術者の会	17名	18名	10名
	公募	21名	19名	_
土木学会		1名	1名	_
報道・その他		5名	_	_
	計	60名	59名	26名

※北陸支部若手技術者 WG、東北支部若手の会、関東支部若手の会、近畿支部魅力発信委員会、四国支部若手の会、九州支部夢アイデア部会兼務者含む

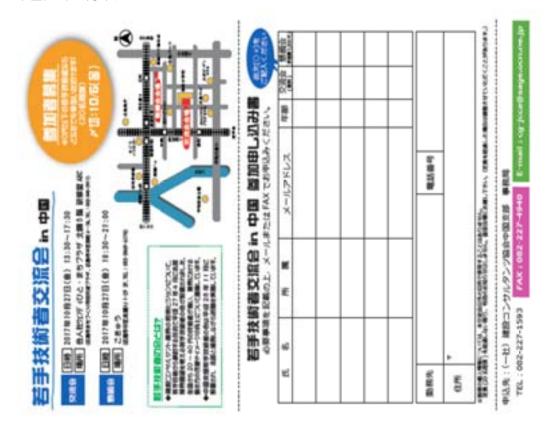
■主 催:(一社)建設コンサルタンツ協会 総務委員会 業界展望を考える若手技術者の会

共 催:(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部 総務部会 若手技術者の会

■タイムスケジュール

日程		時刻	内容	担当	備考						
10/27 (金)	田中	12:00	集合 会場設営・受付準備	支部メンバー	会計:桑田						
	国支部交流会	文部交流会	文部交流会	文部交流会	13:00	受付開始 受付、案内	支部メンバー				
					流会	13:30	開会 開会挨拶 本部若手の会が考える建コンの将来ビジョン アンケート結果、HP ß 版の紹介	本部 伊藤代表本部 伊藤代表	司会:桑田 写真•IC 録 音:井藤		
		13:50	各支部における取り組み紹介	本部 鈴木直	1						
		14:00	中国支部における取り組み紹介 ・生産性向上への取り組みについて ・業界 PR への取り組みについて	中国支部 天野中国支部 杉原							
		14:20	(休憩)								
		14:40	グループディスカッション ・趣旨及び方法説明 14:50 第 1 ラウンド (40 分) 「生産性向上における課題と解決策」 15:30 第 2 ラウンド (40 分) 「業界 PR における課題と解決策」 16:10 各テーブルでの意見とりまとめ 16:40 各テーブルでの意見発表 (3 分×8 班)	中国支部 木俣							
		17:15	閉会挨拶、集合写真撮影	四国支部 西山	*						
		17:30	閉会		誘導:木俣, 井藤,若松						
	懇親会	18:30	懇親会 乾杯の挨拶	本部 伊藤代表	席の案内等:						
	云	20:50 21:00	締めの挨拶 閉会	中国支部 高木	司会:高木写真:井藤						
10/28 (土)	現地	8:45	ホテル出発・移動(マイクロバス)		進行:桑田 車 1 台:杉原						
	見学会	現地見学会	見学会	見学会	見学会	兄学会	光学会	9:30	太田川河川事務所高瀬分室到着 ・説明:8.20 広島土砂災害の概要と復旧状況 について	太田川河川事務 所職員	写真:井藤
		10:00	移動(高瀬分室~現場:安佐南区八木地区)								
		10:15	現地見学	太田川河川事務 所職員							
		10:45	移動(現場:安佐南区八木地区~高瀬分室)								
		11:00	移動(高瀬分室~昼食会場)								
	昼	11:30	昼食								
	食	13:00	移動(昼食会場~広島駅)								
		13:30	広島駅解散								

■中国支部公募案内





■当日資料 (ppt)

<本部若手の会資料>

「業界展望を考える若手技術者の会』 の活動報告 ~業界活性化の一大ムーブメントを買す~

建設コンサルタンツ協会 総務委員会 業務展望を考える若手技術者の会代表 伊藤 高端 この道をいけばどうなるものか。

SERVING.

危ぶめば遊ばなし、

踏み出せば、

その一足が適となり、

その一足が進となる。

速わず行けよ、

行けば分かるさ。

はじめに

最近、 世の中を、

『若手』が、さわつかせている。

■官庁の変

経産省の20~30代若手官僚が、現代社会に問題復起。



■政党の変

自民党の若手議員が、 『日本の未来を考える勉強会』を結成し、政策提案。

サーノミテルは一変の研究を含めている。しかし、2011年間です。Aでは次であるともから、 Aグフトでの心臓に関係している。これままでは、それの変形は、かれままの時間的によ できる。そして用きながら、これが多い人の様だけ、智能等を変形度、からはあり可能する。 ある。

このは独立者ともので、1975~1978年後を中間する。上げられるとので、「 1975~1989 も上部 とれた、水色的にもできた。その他のような協っておりていてかる。なからな、1985年前には は1975~1982年後、特別的は国際では、企業がありませた。1975年では、1985年では とかけれた「日本地」では1975年に、1977年では1975年、「1986年、1986年によったとしてい ものとから、1988年に対して、大阪は北京、1980年からからである。

■建コンの変

この2年間で、 本部舎め全国各支部で『若手有志地稿』が続々設立。



■建コンの変

石手が、架件の現状を要い『将来ビジョン』を策定。 全10女郎を全国行動し共有中。本日は7女郎目。



■建コンの姿

この2年間で、新聞掲載が36回。 日経コンストラクションにも大々的に掲載。



■共通しているもの

■だけど、こう思う。

『アクション』なくして、 『リアクション』なし。

■なぜ、注目されるのか?

空気を読むから 空気をつくるへ

若手の『シゴト観』

「建コン業界若手のシゴト館アンケート間査」より

■若手の会の将来ビジョンの戦略

[3Change + 1Share]

~すべての若手へ、そして業界へと悩がる一大ムーブメント~



実際のところ、

建コン業界の若手は、

どんな 「シゴト帆」 を持っているのか?

■若手のシゴト観アンケート調査概要

建設コンサルタント企業所属の20~30代社員

●興益期間 平成25年8月25日(金)~9月4日(月)

○何立方法 Web調査「Questant」により実施

○関权数

1.199.A

○主な投幣

今の仕事への思い/仕事とは(価値観) /やりがい

(アンケート結果)

Q:今の仕事への思い Nation

ストレスを感じている	7.3% (1)
社会的使命感を感じている	69% (1)
業気力を悪じたことがある	64% (1)
モチベーションを感じている	52% (~)
) 年前に比べ成長している	52% (-1)
用限から感謝、呼信されている	37% (1)
定年まで勤めたい	21%(1)
根果の夢を明確に持っている	5% (1)

(アンケート結果)

Q: 志向する働き方とは (ATRES-BS)



関々と仕事をしている若手が、 高い志を持ち、モチベーション高く働くために 何が必要なのか?

働き方変革① 『多様性の享受』

■若手のシゴト観(現状の働き方)

建設集界の割手は、

「日常に忙殺されストレスを振じたり、頑傷っても 終われないことにしばしば無知力事を感じながらも、 満とだが、技術者としての成品や、仕事の社会的思 義を感じ取り、なんとかモチペーションを保ってい る。また、何常にはっきりした夢や希望が持てず、 いつかは結婚という選択技もよぎりながら、間々と 仕事をしている。」

という姿が浮き彫りになった。

■ 若手のシゴト観 (志向する働き方)

建コン星界の哲手は、

「たと見収入が少なくなっても、仕事とブライベート のバランスを取りなから考さたい、また、会社への帰 観想機よりも、1人の技術者としての自分がやりたいこ とや、学の実界、知的好ら心・将味問心ある仕事を適 して規禁することで、社会から提められる他さ方。』

を志向している。

■見えてきた、働き方変革の方向性

『多様性』 の享要



『生産性』の向上

■社会的ニーズは、変化している

インフラ不足の時代

建設 (=調查・計画・設計)



インフラ充足の時代

建設十〇(=事業の多様化)

■時代の変化を象徴するコンサル批判



■時代の変化を象徴するコンサル批判

- ・ 促棄はするが、その先の事業リスクはとらない。そんな提案にイマイチ信用が書けない。
- 自らのリスクで投資して、地域で事業を立ち上げた 経験など回案。これでは名ばかりコンケルタント。

■災きつけられる課題

我々は、真摯に自成しなければならない。 ただし、こうした批判は、 コンサルへの関係の裏近してもある。

我々は、建設一辺倒から駅却し、 複雑化・多様化した社会的要請に応えるような。 を追求しなければならないのではないか。

■突きつけられる課題

奇しくも、ダーウィンは進化論の中でこう指摘している。

『強い者が生き残るのではなく、 買い者が生き延びるのでもない。 唯一生き残るのは変化できる者である。』

■なぜ『多様性の享受』なのか?

事業の多様化を回指すのであれば、

コンサルタントのキャリアや、働き方も、 『画一性』から『多様性』へと、

変革しなければならないのではないか。

コンサルタントのキャリアを考える

これまでのキャリア

建設 = 技術士



これからのキャリア

建設+a = 技術士+a

■事業が多様化するならキャリアも多様化

スペシャリスト

他の土を取得して専門罪になる。

イントレブレナー/アントレブレナー **季素会社を立ち上げ事業選案する。**

バラレルワーカー

保証の本無を持つ。

フリーランス 特定の企業に関さず、列挙位で契約して他く。

本集の特徴を担くし、自由な特徴をつくる。

■今のコンサルの働き方は、モロ画一的

再業 でないとダメなのか?

正社員 でないとダメなのか?

オフィス』で重かないとダメなのか?

『9時始果』でないとダメなのか?

『休日が日曜日』 でないとダメなのか?

■こんな働き方は、どうですか?

例えば、週3回会社、週2回地域NPOで働く。

例えば、興味あるプロジェクト単位で契約して働く。

例えば、動務時間の20%は、同味関心ある研究に費やす。

例えば、自宅近くのコワーキングスペースで働く。

例えば、妻の子育てを手伝いながら、在宅勤務する。

例えば、通動ラッシュを回避、ラクラク通動する。

例えば、観光地の混んでいない平日に休暇をとる。

働き方変革② 『生産性の向上』

■世間一般の取り組み

- ○36協定環度時間の短縮
- **シノー残業デー**
- **ンプレミアムフライデー**

これらを表面的に進めると、どうなるのか?



■多様性を支える賃金テーブル (イメージ)



■生産性の向上とは?

いかに人・時間・お金をかけずに、 最大の成果を生み出すか?が問われている。

■世間一般の取り組み

『働く時間を短くしましょう。 だけど、成果は同じ分だけ出してね。』

(社員) どうやれっていうんですか? (会社) それは、個人の破損りでしょ。 (社員) はあ???

■本質的問題にフォーカスしよう!

建コンの業務プロセスにおいて、 主産性の低い個大要因は何か???

ズバリ

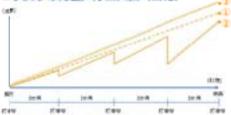
発注者からの『手戻り』

建コンの一般的な業務履行

○4月契約-3月納品 ○1年間12ヶ月の履行期間 〇打合せ5回 (3か月に1回)



■手戻りの発生メカニズム(図化)



()種類ライン:手間りなく一選様

(実際ライン:3か月に1回のチェックで大きな手間り発生

(食草ライン:福味チェックで手葉り掛小化

■どうやって手戻りを最小化するか?

3ヶ月に1回の打合せで、大きな手戻り発生。

てあれば、常に、 受発注者間で、業務の進捗等をチェックできれば、

手戻りは最小化され、 図化した「②変革」の線に近づくのではないか?

受発注者間での常時チェックシステム

■本気で実現しませんか?

なんか見たことないですか??

建設CALS/EC

2001年から導入が進む。 実現したのは、電子入札、電子納品くらい。

本気で取り組んでいく決断をすべきではないか。

■手戻りの発生メカニズム

3ヶ月に1回の発注者との打合せ

(受注者) 1ヶ月一所懸命、横封してきました。 その成果を説明します。

(発注者) ん、思っていたのと違うそ。 思いけど、やり迫しむ。

(現住者) えつ、幼か丹も横封してきたのに・・・。

まじっすか!?

■手戻り弱小化による生産性向上効果

	Prill (- Mindelfu)	1000	压模性 (一点定/作品)
11.00	1.0	1.0	1.00
2,50	1.5	0.8	0.53
0.60年	1.2	1.5	1.25

■どうやって手戻りを最小化するか?



若手の会の存在意義

■若手の会は、サードプレイス

サードプレイスとは、日宅でもなく、環場でもなく、 『とびきり居心地よい第3の場所』



■若手の会の効用

モチベーションが高く、 やりがいを感じている社員は、パフォーマンスが高い。

> 生産性 +31% 売上 +37% 創造力 3倍

> > *) ハーバードビジネスレビュー 2012年5月号より

おわりに

■心に刻まれた名言

これからの若手に向けて、

「関コンは、仕事柄 (3人称 (~すべき)」で領しかち。 岩手は、ぜひとも「1人称 (~する)」で確認う人材 として称ってほしい。」

前建コン協会会長 長谷川停一 装

■若手の会の存在意義

若手の会は、 同世代が集い、真黒目に面白い道論をする場。

着手の会は、 学びの場であり、成長の場でもある。

そして、 互いに刺激し合うことが。 モチベーションの源泉になる。

■若手の会の効用

われわれ着手の会が、

高い志を持ち、変革に挑む若手を増殖させる 受け皿になる。

■内発的動機とは?

「自分の内側からふつふつと演き起こる。 やってやろうというモチベーションのこと。」

内発的動機を高めるために大事なこととは?

『誰から与えられるでなく、 自分自身で考え、 決断したことを実行すること。』

われわれ 若手一人ひとりが一足臨み出すことこそが、

業界活性化の一大ムーブメントの進になる。

業界活性化の一大ムーブメント を興していきましょう!

Facebook 「建コン4.01」 http://www.facebook.com/encorfoce/ YouTube 公式チャンネル http://www.youfube.com/dames/UCOAcbDopler/GayAD+Ghyprig 本日のPPT資料は、 Facebook 「建コン4.01」からダウンロードできます。

<支部若手組織資料>

(一社) 建設コンサルタンツ協会 各支部の取り組み紹介 本部岩手の会 静木 直司

We will innesets the Civil engineering Consultants.

建コン協の各支部(本部1+支部9) **第日本語(日か上げ事業中)** (日本日) 2500 - EFOR

東北支部 若手の会

Jan

(M) = 1-9a>9 HM

JUN

- ✓ 東北支部 若手技術者交流合容 in秋田県(8/25) →都市部と地方の構造し役となり、「全国中地方中地域」 のつながりを創生する。
- →支北地方の確コン従事者の被支を強め、離職者防止や 数手技術者の確保に繋げる。
- / 東北支部 若手技術者ワールドカフェ in社の部(11/17)
- →食界の問題点や課題等、若手会メンバー以外に受信し、 情報共有を図り東北地方建設コンサルタント業界への配 勝折とする。
- · 芋煮会(10/21)
- →食界内の管手間士の様のつながりを割生。



jan 関東支部 若手の会 第3回 君子交換会『立食パーティ×グループ計画』 日 本 平位26年9月24日 日 年 2007年-748 中か日 246



関東支部 若手の会

jan

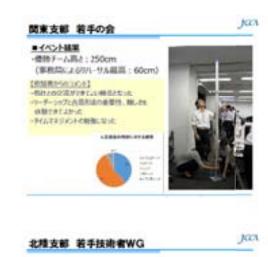
第5回若手交流会 「新聞紙タワーコンテスト」

- 時 平成28年9月7日 18:30~20:30 (2時間)
- ●始義数 40名 (12社)■編 所 八千代エンタニヤリング本社 会議室■あール
- ·グループに分かれ、新聞紙を使用にようワーを製作する
- ・タワーの高さと、コンセクトイはび景報の美しさを聞う ・コンセプトおよび無疑の美しさは、音楽によって音楽を
- -技術雑誌度を学げるためタンー上部にボールを乗せる条件とした

KON 関東支部 若手の会 acedia Ellinosa Caro 様々につりとけていく のお客様の







主なミッションは、 ①離職防止のための環境改善検討 ②担い手確保のための取組検討





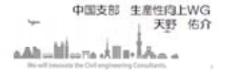






<中国支部 生産性向上 WG 資料>

生産性向上への取組について



本日の話題

- 1. WGで検討している事項
- 2. 生産性向上に向けた取組に関する アンケート結果の報告
- グループティスカッションの進め方

【検討していること】

- 業務効率化のための取組
- ●働きやすい環境の整備に向けて
- 技術力向上のための支援

など

中国支部 生産性向上WGメンバー

天野 佑介(復建調査設計構)

鳥田 晃平(大日本コンサルタント隊)

河内 健 (城福山コンサルタント)

久遠 黄博(城ヒロコン)

笹間 将平(シンワ技研コンサルタント(株)

長松 寛泰 (保宇部建設コンサルタント)

智松 禁一(例ウエスコ)

以上 計7名(医+600)

WGで検討している事項

2. 生産性向上に向けた取組に関する アンケート結果の報告

アンケートの転更

[RIR]

中国支部若手技術者の会に所属する10社

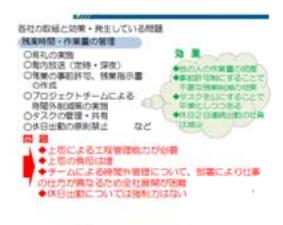
【ヒアリング内容】

生産性向上に向けた各社の協議、効果、総額点を把握

- ・社外に出せない情報もあるため、可能な範囲で ・実態をより正確につかむため、労働地間管理等に 関わっている方からの意見聴取

各社の欧線と効果・発生している総額

1. ノー残果デーの告知などの残果削減を保す取組 ノー残業デーの徹底 效果 〇水曜日をノー残閑テーに +insteamons: 〇強化月間の設定 ● 35 開発の発送をおける 〇牡内放送 ◆所属長の祖臣で帰位 〇所属長や投資の巡回 ◆飛き間にもかしがつ 〇留守電の対応 など ◆他の日の結婚外が増加 ◆申請すれば性質可能なため、あまり効果なし ◆携帯に直接、電話あるいはメールで発音の指示あり ◆所属長が出議等で返回できないことも多い



3. グループティスカッションの進め方



生産性向上とは?

生産性= アウトブット インブット

アウトブット:成果

インブット: 労働力

(人件費、資材費等のコスト)

生産性を向上するためには、

成果の価値を上げるか、コストを下げるしかない

本日の機械テーマ

生産性向上における課題と解決策

◆講論の論点と進め方

生産性向上に向けた取組みを検討しているが 計器・問題が山構み



長い目でみて、生産性を向上させるため にはどうしたらよいか? 進め方・記入例

課題やボトルネック: 赤い付箋



連路・ボトルネックとなっている ことを洗い出してください。

解決のアイデア: 脳の付護



建設的に、解決のアイデアを 記入してください。

付箋の使い方は自由です!

以上、ご清憩ありがとうございました。

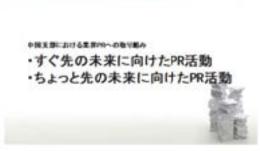
<中国支部 業界 PRWG 資料>





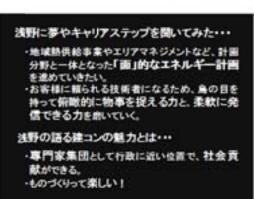














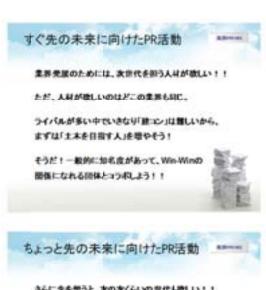




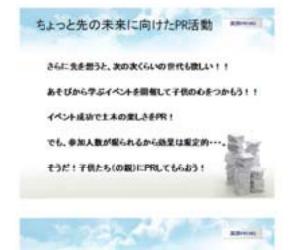


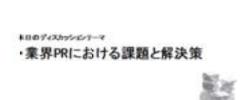








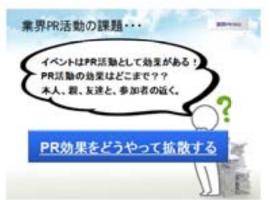




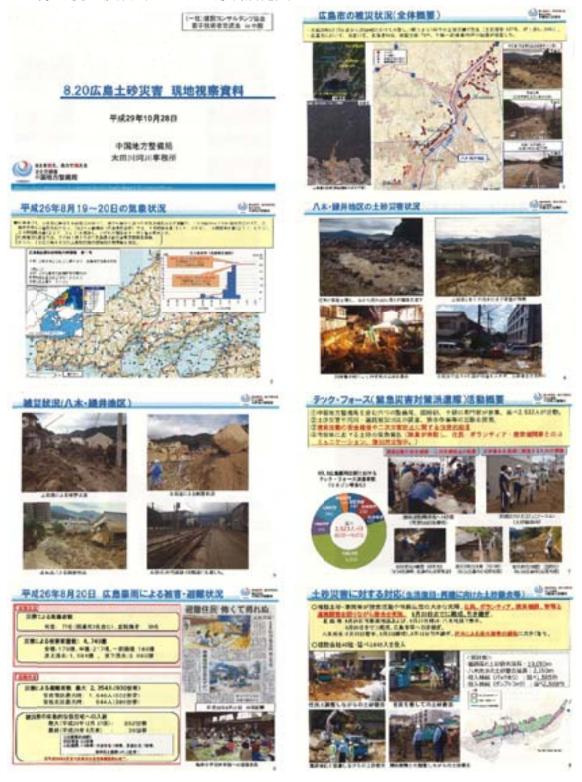


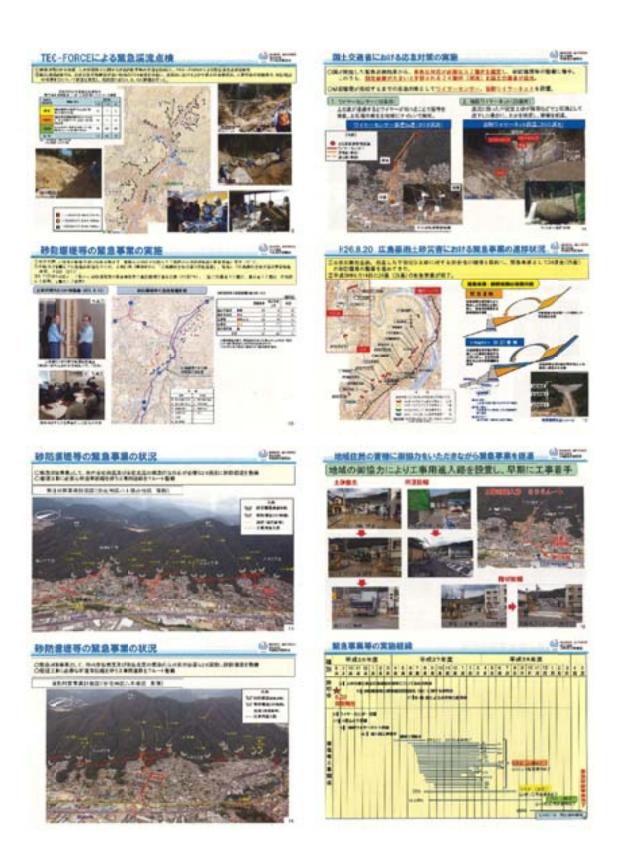






<現地見学会資料(太田川河川事務所提供)>







■結果概要



■業界紙への掲載

2017/10/31 建設工業新聞



2017/11/1 中建日報





2017/11/7 経済レポート

莉手技術者交流会

(地) では、 (中間を第1中区八丁 等) に所謂する君子技術 等) に所謂する君子技術 方法の交流会が、先月二 十七日に開催された。

かとは思うが、若手の理 業界特有の課題もある な議論が展開された。 タント)からは、水産性 代表=中報技術コンサル 代表=中報技術コンサル のは、日本報技術コンサル 数的な意見を導き出すた た。グループディスカッよる取り組み紹介があっ の各グループリーダーに向上WGと維持下RWG ションウロ、水道で活動



45

2.4 その他活動

2.4.1 本部若手の会との交流

全国の支部間の連携・交流の在り方、業界活性化方策の検討を目的に、全国各支部の若手 組織が一堂に会し議論する場として、建コン若手技術者全国大会が開催されました。

中国支部より5名参加(うち、2名は本部委員として参加)し、支部からの組織間の連携・交流推進方策についての提案を実施しました。

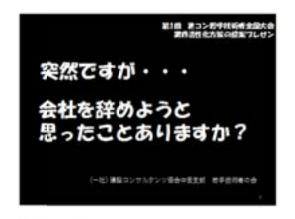
■開催概要

項目	内容
日時	平成 28 年 4 月 7 日(金)13:00~17:00 (以後、懇親会)
場所	建設コンサルタンツ協会本部会議室
参加者	以下のとおり
プログラム	①開催主旨
	②各組織の活動紹介
	③各組織からのプレゼン(テーマ:組織間の連携・交流推進方策の提案)
	④グループ討議(テーマ:提案内容を踏まえた具体的展開方法)
広報計画	事前告知十事後報告
	• 建設通信新聞、建設工業新聞、建設産業新聞
	• 日経コンストラクション 他

■参加者

支部	若手組織	参加者	備考
本部	業界展望を考える若手技術者の会	26名	桑田、若松
北海道支部		2名	
東北支部	若手の会	3名	
関東支部	若手の会	2名	
	女性の会	2名	
北陸支部	若手技術者 WG	3名	
中部支部	_	3名	
近畿支部	魅力発信委員会	1名	
	男女共同参画委員会	1名	
	その他	2名	
中国支部	若手技術者の会	3名	八田、高木、杉原
四国支部	_	2名	
九州支部	夢アイデア実行委員会	3名	
	女性技術者委員会	2名	
	計	54名	

■中国支部提案資料

























2.4.2 リクルート活動

業界の担い手確保のため、総務部会が実施している中国地方の大学・高等専門学校へのリクルート活動へ同行し、若手技術者の仕事内容等を紹介しました。平成 29 年度の活動については、業界 PRWG で作成した若手技術者の紹介資料を元に説明を実施しました。

■リクルート活動(業界説明会)概要(平成29年1月~平成30年1月)

No.	E	時	訪問先	参加者	備考
1	H29.1.16(月)	13:00~14:30	鳥取大学 工学部 土木工学科、社会開発シ ステム工学科	笹間	
2	H29.1.16(月)	15:30~16:30	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科(環境建設工学専攻)	杉原	
3	H29.1.24(火)	15:00~16:00	広島大学 工学部 社会基盤環境工学部門	浅野	
_	H29.1.25(水)	8:50~10:30	松江工業高等専門学校 環境・建築工学科	若松	天候不良のた め同行せず
4	H29.1.25(水)	12:50~17:10	山口大学 工学部 社会建設工学科	長松	
5	H29.1.26(木)	10:30~11:30	島根大学 総合理工学部 地球資源環境学科	船本	
6	H29.2.2(木)	10:30~12:00	呉工業高等専門学校 環境都市工学科	森	
7	H30.1.23(火)	8:50~10:20	松江工業高等専門学校 環境・建築工学科	若松	
8	H30.1.23(火)	15:30~16:30	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科	桑田	
9	H30.1.24(水)	10:15~11:45	島根大学 総合理工学部	若松	
10	H30.1.24(水)	12:50~17:10	山口大学 工学部 社会建設工学科	長松	
11	H30.1.25(木)	16:00~16:55	広島大学 工学部	浅野	
12	H30.1.29(月)	14:45~16:15	鳥取大学 工学部	笹間	
13	H30.1.30(火)	16:10~18:00	呉工業高等専門学校 環境都市工学科	森	

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告①

日時	2017/1/16(月) 13:00~14:30、14:45~16:15		
場所	鳥取大学工学部土木工学科、社会開発システム工学科 (学生:50、20 名)		
参加者	総務部会: にであ(株) 杉山、 同行:アサヒコンサルタント(株) 隅、 復建調査設計(株) 來山 シンワ技研コンサルタント(株) 川口		
	若手技術者の会: シンワ技研コンサルタント(株) 笹間		
	1.自己紹介(5分)		
	2.ビデオ(10分)		
	3.p p i 説明		
	建設コンサルタントの概要 25分		
	建設コンサルタントのやりがい、広報活動 25分		
	建設コンサルタントのやりがい若手社員の 1 日 10 分 4.質疑応答 15 分		
内 容	4.臭疑心合 10 万		
	 [質問内容]		
	・建設物の取り壊し計画も建設コンサルタントの仕事か?		
	·CAD 等の知識は必須か?		
	 ・海外の出向は建設コンサルタント業界にとって一般的か?		
	【気づき等】		
	・授業の一コマとしての説明会であったため参加人数は多かったが、質問は少なめでした。		
	・土木系以外の学科でも建設コンサルタントについて知識があり、「CAD」が使えるかどうかなど		
その他 (次年度活動	興味を持っている学生もいる。		
に向けての気づき等)	・人材確保には、土木系以外でも興味を持っている、または、興味を持つ可能性がある学生に		
J G守)	向けた取り組みも必要になるのではないかと感じた。		
	なし		
撮影写真			

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告②

日 時	2017/1/16(月) 15:00~16:00
場所	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科(学生: 4年生 40名程度)
参加者	総務部会: 中電技術コンサルタントト(株) 蔵重
	若手技術者の会: 中電技術コンサルタントト(株) 杉原
	[建コン説明会の概要]
	・進路(進学、就職(民間、公務員))を考える4年生時の講義の一部として開催された。
	·説明会は、自己紹介(10 分程度) 建コン作成 PPT を用いた説明(総務部会が説明、40 分)
	QA(10 分程度)の順で行った。
内 容	·説明中はおよそ半数の学生が睡眠。QA では学生からの質問は当然なく、担任の先生があまり
	に申し訳な〈2、3質問。ただし、質問は「豊洲問題のようなことが何故起きるのか」、「大阪府であ
	ったコンサルタントの賠償問題」など学生に興味を持たせるための質問ではない(業界の不透明
	な部分をオープンにして安心させたいとう意図であれば良いが、新聞・報道レベルでの知識を聞
	いたに過ぎないレベル。とは到底言えない)。
	【徳山高専固有の課題】
	・徳山高専では、進路(進学、民間、公務員)に関する検討は前期から取り組んでいるとのことで
	あり、本説明会の段階ではすでに学生は希望進路を固めた後であった。
	・担任の先生の話では、学生が興味を持つ(知っている)企業は全国区で名の通っている会社の
	他ではインターンシップで実際に職場体験をした企業が主とのこと。そのため、将来の選択肢に
	建コンを候補としてもらうためにはインターンシップ先を選ぶ段階までに興味を持ってもらう必要
	がある。
	【リクルート全般の課題】
	・説明会に用いられた建コン作成 PPT は、文字が多い。丁寧に作られており、業界を知るための
その他 (次年度活動	読み物的な扱いとしては良い資料かもしれない。ただし、文字が多いと読みに〈〈、パッと見でわ
に向けての気	かってもらうための説明資料としての出来はイマイチ。よほど興味を持って「聞こう」としている学
づき等)	生でないと、説明を聞くうちに睡魔が襲ってくることも納得できなくはない。
	[まとめ]
	業界の説明会を就活直前にやっても遅い(この時期は建コンに興味を持っている学生相手に
	会社の説明会をやるべき)。
	建コン業界全体で入職者を増やすためには、学生が進路を考える時点では建コンに興味を持
	ってもらっておく必要がある。徳山高専の事例ではインターンシップ先の企業・業界がまず候補
	に上がるとのこと。大学・高専のカリキュラムにもよるが、説明会は5月6月〈らいが望ましい。
	今の説明資料は興味がわく資料とは言えない。資料の見直しが必須。
	現在インターンシップは「大学・高専から企業へ問い合わせ」で実施されているケースが多い。
	求人案内のように大学・高専にインターン募集を出しては?
撮影写真	・講義のため無し。

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告③

日時	2017/1/24(火) 15:00~16:00
場所	広島大学工学部 (学生:5名)院生2名、学部生3名(内女性1名)
62 Lp ±4	総務部会: 復建調査設計ト(株) 來山
参加者	若手技術者の会: 荒谷建設コンサルタント(株) 浅野
	[説明会の流れ]
	1.自己紹介(5分)
	2 . ビデオ(10 分)
	3 .ppt 説明(40 分)
	(1)建設コンサルタントの概要(15 分)
	(2)建設コンサルタントのやりがい(15 分)(浅野担当分)
内 容	(3)プロ(匠)の仕事
	(4)広報活動と情報提供
	4 .質疑応答 5 分
	[浅野担当分]
	1. 自己紹介(今の業務内容など)
	2. 若手社員の一日
	3. コンサルに就職した動機、やりがい等
	【質疑応答で質問されたコト】
	Q1.どのように会社選択(建設コンサルタント会社)を行えばよいですか?
	A1. 建設コンといっても、総合コンサルや各分野に特化したコンサル、大手都市圏コンサル、地
	方コンサルと色々ある。まずは、会社説明会や会社訪問などを通して、どんなコンサルがある
	のか知ることが重要。
	Q2.建コンで働く先輩に聞いたのですが、やっぱり建コンって忙しいですか?
	A 2 . 忙しくないと言ったら嘘になりますが、ノー残業デーなどを建コン業界として進めています。あ
その他	とは、自分の仕事の取り組み方で変わって〈ると思います(時間は自分でつ〈るもの)。
(次年度活動に向けての気	[気づき等]
づき等)	本説明会の対象者は30~40名いたらしいのですが、聞きに来られたのは5名。説明会に関
	する広報がいきとどいていなかったのか、就活スタートが 3 月だったのでまだ腰が重いのか
	分かりませんが、少しさびしい状況でした。來山さんによると昨年度もこのくらいの人数
	だったそうです。
	質問にもあったように、「忙しい」というイメージが強いようです(負のイメージが強い)。
	就活間際の大学生は、「建コンとは?」という内容よりも、「どんな会社があるか」という点に
	興味があるように感じました(当然ですが…)。なので、建コンPRにおいてターゲットを絞って
	進めるのであれば、小中高が妥当だと実感しました。
撮影写真	なし

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告④

建設コンサル	レタンツ協会中国支部リクルート活動報告④
日時	2017/1/25(水) 12:50~17:10
場所	山口大学工学部社会建設工学科 (博士前期課程 25 名、学部学生 90 名)
参加者	総務部会: (株)宇部建設コンサルタント 鷹羽
	若手技術者の会: (株)宇部建設コンサルタント 長松
	[業界·企業等研究会]
	・本研究会は、学部 3 年生の講義「大学院へのいざない」の一環で開催されたもので、学生の進
	路選びの参考とすることを目的とした。
内 容	・参加した企業等を 4 つの分野(ゼネコン、コンサル、専門会社、自治体・機構)に分け、学生がロ
	ーテーション方式で全ての分野に訪問する形式で行われた(50 分×4)。
	・各企業等が1分程度の PR を行った後、学生から興味のある企業等に自由に訪問し、質問を行
	った。
その他	・コンサル分野からは 22 社参加したが、PR 時間がわずか 1 分であったため、各社の特色や業界
(次年度活動	の魅力を伝えることが困難であった。
に向けての気づき等)	・パワーポイント映写はな⟨、A3 サイズの紙芝居等を用いて行われたが、文字が小さ⟨学生から
	は内容が見えなかった。
写真	1 分間 PR の様子

質疑応答の様子

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑤

日時	2017/1/26(木) 10:30~12:00		
場所	 島根大学総合理工学部 (学生:30 名(院生·学部混合))		
	※務部会: 復建調査設計(株) 來山、荒谷建設コンサルタント(株) 吾郷		
参加者	 若手技術者の会: (株)福山コンサルタント 船本		
内容	[概要] 1.來山さんより業界説明(50分) ・建コン協作成のビデオ放映 ・「建コンのやりがい・魅力」紹介として、 若手社員の1日とし以下の内容について、船本から説明(10分) 自己紹介、なぜ建設コンサルタントを選んだかどんな仕事をしているか 1日のタイムスケジュール 残業が多い? やりがい 就活のアドバイス 2.復建・荒谷・福山の3社の会社紹介 (大学側からの要請があったため) 3.質疑(10分)	● 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	
その他 (次年度活動 に向けての気 づき等)	計90分 【質問】 (質問】 研究室の分野と異なる分野から就職して困ることはないか? (回答)基本的には問題ない。就職してから学んだ内容ばかりで、どの会社も上司・先輩が0」 「で指導してくれる会社が多いので心配はいらない。 (質問)業界には興味が持てた。会社のしぼり込みはどうしたらよいか? (回答)しぼりこむ必要は特にない。各社で特徴があるので会社訪問にいくとよい。 【気づき】 ・業界説明を行ってから3社の会社紹介という流れでしたが、企業側にとっては説明を簡略化することができ、学生にとっては「業界」というものを認識しやすく、双方にメリットがあってよいと感じました。 ・次年度は、建コン各社で協力して県単位くらいで合同説明会を開けば業界PRにもなると思いました。その合同説明会で若手の会の企画(興味づけ等)があってもおもしるそうですね。		
撮影写真	・なし	_	

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑥

	レダフツ協会中国文部リグルート活動報告(6)	
日時	2017/2/2(木) 10:30~12:00	
場所	呉工業高等専門学校 環境都市工学科 (学生:40名)	
参加者	総務部会:いであ(株) 杉山、復建調査設計(株) 來山 同行:いであ(株) 江良	
	若手技術者の会:復建調査設計(株) 森	
	・建設コンサルタント協会で作成しているパワーポイントを用いて、総務部会長來山より説明。	
	・若手技術者の会からは、「若手社員の一日」を紹介。合わせて、建設コンサルタントを志望した	
	理由、経歴を紹介するとともに、実際に携わった業務のうち、1事例を説明。	
	[学生からの主な質問]	
中 宓	・住民説明会など、直接的に住民と係わる場もあるということだが、住民説明会で説明した内容	
内 容	(計画)に反対されることもあるのか。	
	・就職した後、高専卒と大学卒、大学院卒で能力の差を感じることはあるのか。	
	・技術士補や2級土木施工管理技士など資格を取得していることで採用試験の際、優位となるの	
	か。	
	・工事を進めていく中で設計ミス等があった場合は誰がお金を負担するのか。	
	・就職担当の先生曰〈、高専生の中には会社に入った後、大学卒や大学院卒に比べて、給料や	
	出世などでハンディがあるのではないかと感じている生徒もおり、高専卒で会社に就職するの	
その他 (次年度活動	ではなく、大学に編入してから会社に就職することを検討している学生もいる。	
に向けての気	・土木系の高専生からでさえ、建設コンサルタントがそもそもどのようなことをしているのかを今回	
づき等)	初めて知ったという声も聞かれたため、きちんと建コンの魅力についてPRを行い、理解しても	
	らうような姿勢で取り組むことが重要であると感じた。	
	総務部会長 來山からの説明の様子	
撮影写真	\$2000FF	
	若手技術者の会 森からの説明の様子	

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑦

日時	2018/1/23(火) 8:50~10:20	
場 所	松江工業専門学校 環境·建設工学科 (学生:45 名,教員:2名)	
参加者	総務部会: 復建調査設計(株) 來山 同行:(株)ウエスコ 福井	
	若手技術者の会: (株)ウエスコ 若松	
	【説明会】	
	1.自己紹介、準備(全員) 5分	
	2 . DVD(來山)10 分	
	3.PPTによる業界説明、若手技術者による説明 (來山、若松)65分	
	4.質疑応答 (全員)10分	
	【質問】	
	1. 建設コンサルタント業界に所属する会社は何社ぐらいか?	
	建設コンサルタント会社が全国で約 4,000 社程度あり、1割が建設コンサルタント協会に所	
内 容	属している。	
	2. スペシャリストとジェネラリストの割合	
	技術職が多いことから、スペシャリストを目指す人が多い。しかし、近年は様々な業務と関わ	
	るなど働き方の中でジェネラリストを目指す人も増えている。	
	3. 出張は多いのか?	
	地場コンサルは地域に根差した仕事を行うため、少ないと思うが、広域コンサルは全国展開	
	しており、出張は多い。また、一人でいくつも業務を持つため、色んな個所に行ける。	
	4. ゼネコンの施工管理とコンサルの施工管理の違い	
	ゼネコンの施工管理は、自社の工程管理などのマネジメント,コンサルの施工管理は、役所	
	の技術な補助や第三者としての技術的な管理を行っている。	
その他	· 各県で建設コンサルタントが関わったゆかりある構造物などの写真を掲示する。	
(次年度活動	(興味を持ってもらう)	
に向けての気 づき等)	・就職先の選択肢としてゼネコン,役所が多いことから、ゼネコン,建コン,役所との違いが判る簡 	
	単な資料が欲しい。 	
撮影写真		

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告8

日時	2018/1/23(火) 15:30~16:30
場 所	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 (学生:4 年生·専攻 1 年生 19 名)
参加者	総務部会: 中電技術コンサルタント(株) 河野、 同行:中電技術コンサルタント(株) 山原、蔵重 若手技術者の会: 中電技術コンサルタント(株) 桑田
内容	説明会という形で土木民間志望 19 名(女子 3 名)のみに対して実施
その他 (次年度活動 に向けての気 づき等)	・昨年とは異なり、寝ている学生はほとんどいなかった。 本部の業界説明資料をかなり間引き、順番も説明しやすいように入れ替えたため、説明の流れが良かったからか 本部資料の業務事例は関東。中国支部の事例を収集するか。 中国地方は土砂災害が多いため、例えば、災害発生後にどういう流れで復旧していくか、どこにどうコンサルが関わっているか等の事例があったら興味がわくかもしれない。 ・インターンシップ先(役所/コンサル/ゼネコン)での就職を希望するパターンが多い。 建コンを候補としてもらうためにはインターンシップ先を選ぶ段階までに興味を持ってもらう必要がある。 ・若手資料の一週間のスケジュールに残業を入れたらダメ、と就職担当の先生に後で言われた。 説明の際には、残業は0ではないが、働き方改革が進められており、みんなのイメージしているより大分残業は減ってきていると説明。資料の見直しが必要か
撮影写真	なし

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑨

日時	2018/1/24(水) 10:15~11:45		
場所	 島根大学 総合理工学部 (学生:8名)		
参加者	総務部会: 復建調査設計(株) 來山 同行:(株)ウエスコ 福井		
	若手技術者の会: (株)ウエスコ 若松		
	【説明会】		
	1.自己紹介、準備(全員) 5分		
	2 . DVD(來山)10 分		
	3.PPTによる業界説明、若手技術者による説明 (來山、若松)65分		
	4 . 質疑応答 (全員)10 分		
	【質問】		
	1.行政の方に仕事をいただ〈ためには、提案を行う事が多いのか?		
	建設コンサルタントの発注方式は、以前は価格で競争する「価格競争」がメインであった。しか		
	し、近年技術力を審査する「プロポーサル方式」、技術力と価格双方を評価する「総合評価方		
4 😁	式」が増えてきている。		
内 容	2. 出張は多いか?		
	地場コンサルは地域に根差した仕事を行うため、少ないと思うが、広域コンサルは全国展開し		
	ており、出張は多い。また、一人でいくつも業務を持つため、色んな個所に行ける。		
	3.技術士は仕事をしながら学べるものか?上司などに教えてもらえるものか?		
	技術士は、技術的な経験を述べる必要があるため、仕事をしながら学ぶ必要はある。しかし、		
	書類の書き方や論文の添削などは、各企業で積極的に教えていることが多い。		
	4.RCCMと技術士の資格の違いは?		
	技術士は最短で入社4年から受験可能であり、社会的な認知度が高く、合格率が低い。RCC		
	Mは、10 年以上の経験が求められ、近年は技術士を取得し、違う分野でRCCMを取得するな		
	ど、どちらも受験する方が増えてきている。		
その他 (次年度活動	特になし		
に向けての気 づき等)	##ICAU		
撮影写真			
	A THE RESERVE OF THE		

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑩

路選びの参考とすることを目的とした。 参加した企業等を 4 つの分野(ゼネコン、 コンサル、 専門会社、 自治体・機構) け、学生がローテーション方式で全ての分野に訪問する形式で行われた(50 分×4 ラウンド) コンサル分野からは 34 社が参加しており、各企業等が 30 秒程度の PR を行った後、学生興味のある企業等に自由に訪問し、質問を行った。 [プログラム] 1. 開会 12:50 - 13:00 2. 分野別個別研究会 第1ラウンド 13:10 - 14:00 休憩 14:00 - 14:10 第2ラウンド 14:10 - 15:00 休憩 15:00 - 15:10 第3ラウンド 15:10 - 16:00 休憩 16:00 - 16:10 第4ラウンド 16:10 - 17:00 3. 閉会 17:00 - 17:10 *各ラウンドで、実際に学生と会話できる時間が、質疑応答の 30 分程度しかなかった。・・上記の理由から、建設コンサルタンツ協会としては、あまり学生を拘束することがないように会パンフレットと若手資料を配布する程度に留めた。 配布資料が重要。 - 有給休暇の取得、残業時間について気にしている学生がいた。	日時	2018/1/24(水) 12:50~17:10			
本研究会は、学部3年生の講義「大学院へのいざない」の一環で開催されたもので、学生路選びの参考とすることを目的とした。	場所	山口大学工学部社会建設工学科 (大学院 1 年生及び学部 3 年生:約 110 名)			
若手技術者の会: (株)宇部建設コンサルタント 長松	숙뉴고소	総務部会: (株)宇部建設コンサルタント 鷹羽			
本研究会は、学部3年生の講義「大学院へのいざない」の一環で開催されたもので、学生路選びの参考とすることを目的とした。参加した企業等を4つの分野(ゼネコン、コンサル、専門会社、自治体・機構)け、学生がローテーション方式で全ての分野に訪問する形式で行われた(50分×4ラウンド)コンサル分野からは34社が参加しており、各企業等が30秒程度のPRを行った後、学生興味のある企業等に自由に訪問し、質問を行った。 [プログラム] 1.開会 12:50-13:00 2.分野別個別研究会第1ラウンド 13:10-14:00 休憩 14:00-14:10 第2ラウンド 14:10-15:00 休憩 15:00-15:10 第3ラウンド 15:10-16:00 休憩 16:00-16:10 第4ラウンド 16:10-17:00 3.開会 17:00-17:10 その他(次年度活動に向けての気づき等)・ 16:10・建設コンサルタンツ協会としては、あまり学生を拘束することがないように会パンフレットと若手資料を配布する程度に留めた。配布資料が重要。 1 会 1 会 1 会 1 会 1 会 1 会 1 会 1 会 1 会 1	参加者	若手技術者の会: (株)宇部建設コンサルタント 長松			
その他 (次年度活動に向けての気 づき等) ・有給休暇の取得、残業時間について気にしている学生がいた。・学部 3 年生ということもあり、ゼネコン、コンサル、公務員の違いについてあまり理解できてい学生がいた。	内 容	本研究会は、学部 3 年生の講義「大学院へのいざない」の一環で開催されたもので、学生の進路選びの参考とすることを目的とした。 参加した企業等を 4 つの分野(ゼネコン、 コンサル、 専門会社、 自治体・機構)に分け、学生がローテーション方式で全ての分野に訪問する形式で行われた(50 分×4 ラウンド)。 コンサル分野からは 34 社が参加しており、各企業等が 30 秒程度の PR を行った後、学生から興味のある企業等に自由に訪問し、質問を行った。 [プログラム] 1. 開会 12:50 - 13:00 2. 分野別個別研究会 第1ラウンド 13:10 - 14:00 休憩 14:00 - 14:10 第2ラウンド 14:10 - 15:00 休憩 15:00 - 15:10 第3ラウンド 15:10 - 16:00 休憩 16:00 - 16:10 第4ラウンド 16:10 - 17:00			
	(次年度活動 に向けての気	・上記の理由から、建設コンサルタンツ協会としては、あまり学生を拘束することがないように、協会パンフレットと若手資料を配布する程度に留めた。 配布資料が重要。 ・有給休暇の取得、残業時間について気にしている学生がいた。 ・学部 3 年生ということもあり、ゼネコン、コンサル、公務員の違いについてあまり理解できていない学生がいた。			
撮影写真 30 秒 PR の様子 質疑応答の様子	撮影写真	30 秒 PR の様子 質疑応答の様子			

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑪

日 時	2018/1/25(木) 16:00~16:55 (55分)		
場 所	広島大学工学部(学生: 9 名)		
	総務部会: 復建調査設計(株) 來山		
参加者	若手技術者の会: (株)荒谷建設コンサルタント 浅野		
	【当日の流れ】		
	① 0~5分 自己紹介・準備(全員)		
	② 5~15 分 DVD (來山)		
	③ 15~40 分 ppt 説明(來山)		
	④ 40~50分 若手技術者による説明(浅野)		
	⑤ 50~55 分 質疑応答		
内 容	【質問】		
	学生からは、ひとつも質問出ず。		
	こちらから学生へ次の質問をした。		
	建設コンサルタントは忙しいイメージがありますか?		
	学生:ある。		
	建コン:忙しくないと言ったら嘘になるが、ゼネコンや公務員は建コン以上に忙しい場合があ		
	る。また「ノー残業デー」など協会をあげて取り組んでいる。		
	【当日】		
	・ 質疑応答の時間が短く、柔軟に対応できない。時間配分を見直す必要があると思う。		
	・ 講義形式だと一方的になるので、談話形式(椅子机を並び替える等)で説明できるといいかも		
	しれない。		
その他			
その他 (次年度活動	【リクルート資料】		
(次年度活動に向けての気	【リクルート資料】 ・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。		
(次年度活動			
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		
(次年度活動に向けての気	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		
(次年度活動 に向けての気 づき等)	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		
(次年度活動 に向けての気 づき等)	・「建コン」、「ゼネコン」、「公務員」等の違いがわかるような資料を作成する。 ・ 印刷して渡すために、もう少し冊子化を考慮したデザインを検討する。 【その他】 ・ リクルートの時期はもう少し早いほうが良い。業界リサーチを終えているヒトも多く、業界のこ		

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑫

日時	2018/1/29(月) 14:45~16:15			
場所	鳥取大学工学部棟 4F 42 講義室 (学部生:1 名、院生:1 名)			
	復建調査設計 來山、いであ(株) 杉山、アサヒコンサルタント 隅			
参加者	総務部会: 荒谷建設コンサルタント 下山、シンワ技研コンサルタント 川口			
	若手技術者の会: シンワ技研コンサルタント 笹間			
	【当日の流れ】			
	┃ ⑥ 0~5分 自己紹介・準備(全員)			
	⑦ 5~15分 DVD(來山)			
	⑧ 15~45 分 ppt 説明(杉山)			
	⑨ 45~55分 若手技術者による説明(笹間)			
	⑩ 55~80分 ppt 説明(來山)			
	⑪ 80~90分 質疑応答			
内 容	【質問】			
	災害の際は実際に現場に駆けつけるのか?			
	┃ 県外(事務所から離れた地区)の現場に行くことはまれ。 ┃			
	地元(中部地方)に帰省して、都市計画の仕事がしたいが、どの会社が都市計画に力を入れて			
	いるか分からないので教えてほしい。			
	協会の立場からでは、1 社を推奨する等はできないが、中部地方の会社への質問等のパイプとでいる。			
	フセザはり fic。 最終的な判断は実際に会社見学等にいってみて学生自身が決めるしかない。			
7.0/14	・説明会の時期がテスト期間にかぶり、足が進まない?			
その他 (次年度活動	┃ ・昨年は授業の一環で説明会を開いてもらったが、今年は希望制だったため人数が極端に少な┃			
に向けての気 づき等)	くなった。学生への通知の仕方は関与できないか?(説明会案内のポスター作成等)			
ŕ				
	Loll			
撮影写真				
	A STORY OF THE REAL PROPERTY OF THE PERSON O			

建設コンサルタンツ協会中国支部リクルート活動報告⑬

日時	2018/1/30(火) 16:10~18:00			
場所	呉工業高等専門学校 環境都市工学科 (C4 学生:5 名)			
	総務部会:いであ(株) 杉山 同行:いであ(株) 江良			
参加者	若手技術者の会:復建調査設計(株) 森			
内容	[説明] ・建コンに興味のあるC4学生5名を対象に実施。業界説明資料、パンフレット及び若手技術者の会説明資料を配布。 ・業界説明では建設コンサルタンツ協会作成のパワーポイントを用いて、要点を絞って説明。 ・当日スケジュールは下記の通り。 16:10~16:15 自己紹介 16:15~16:25 DVD 16:25~17:00 業界説明(いであ 杉山、江良) 17:00~17:30 若手技術者の会説明【業界+業務紹介】(復建 森) 17:30~18:00 質疑応答 【質疑】 ・業界説明資料の中に建設コンサルタンツ協会としてノー残業デーなどの取組みを国土交通省に協力要請しているとあるが、やはり残業は多いのか。 年度末にかけて仕事は忙しくなるが、年度明け以降残業は少なくなる。			
	・交通に興味を持っているのだが、どのような企業を選べばよいのか。 まずは働きたい場所や会社規模などを決めて企業を調べてみるのもよいのではないか。例え ば、海外の仕事がしたいのであれば、大手企業がよい。 インターネットなどで情報収集をするほか、先生に相談して実際にインターンシップを経験する のもいいと思う。			
その他 (次年度活動 に向けての気 づき等)	・質問を活発にしてもらったこともあり、予定していた質疑応答の時間を超過してしまった。 少人数だと質問もしやすかったのではと思われる。参加者が少人数の場合は、質疑応答時間 を長めに確保してお〈ほうがよい。			
撮影写真				

2.4.3 防災教育出前講座(防災委員会)

中国支部防災委員会の要請により、以下のとおり、小学生を対象とした防災教育(出前講座)に参加しました。

■防災委員会出前講座概要(平成 29 年度)

No.	日時	学校名	対象学年	人数	参加者	備考
-	H29.10.27(金) 10:40~12:00	矢野西小学校 (広島市安芸区)	5年生	83人	_	若手技術者交 流会 in 中国と 同日のため
-	H29.11.10(金) 14:10~15:45	伴東小学校 (広島市安佐南区)	3年生	56人		建設技術フォ ーラムと同日 のため
-	H29.11.29(冰) 14:10~15:45	五日市中央小学校 (広島市佐伯区)	5年生	92人	_	協力要請なし
1	H29.12.18(月) 10:45~12:20	三入小学校 (広島市安佐北区)	6年生	63人	桑田木俣	
-	H30.1.26(金) 14:00~14:45	毘沙門台小学校 (広島市安佐南区)	3年生	67人	_	協力要請なし

防災委員会出前講座報告①

防災委員会出前講座報告①			
日時	2017/12/18(月) 10:45~12:20		
場所	三入小学校 (安佐北区三入)		
対 象	小学 6 年生 (2 組 63 人)		
会加 字	防災委員会: 木下、早水、浜本、山下、若槻、光本(敬称略、順不同)		
参加者	若手技術者の会: 桑田、木俣		
内 容	タイムスケジュール 10:45~10:50 ・講師の自己紹介・今日の授業テーマ、内容説明 10:50~11:30 ・土砂災害について・河川災害について・河川災害について・地震への備え・地震への備え・地震への備え・地震への備え・連難経路さがし ・自宅(生徒)位置、避難場所の記入・避難経路さがし ・ 作成したハザードマップの発表・講師からの質問、助言 12:15~12:20 ・集合写真撮影 ハザードマップ作成 (2 クラス、各 4 班)		
気づき等	・資料が少し難しかった(特に地震の説明) ・学区によっては、八ザードマップの縮尺が大きく、自宅位置を記入するのに時間がかかった。 あらかじめ図面を学校に送付し、自宅位置を記入しておいていただいてはどうか? ・図面に赤丸や緑丸が印刷されていたが、作業中に貼ったシールとの違いがわかりにくかった。 色を変えたほうが良いかもしれない。 ・8.20 広島土砂災害で被害を受けている地域なので、学校側が積極的に防災についての授業に取り組んでいた。(地域の自主防災組織とも繋がりがある)		
撮影写真	講師による授業 ハザードマップ作成風景		
	ポスター発表 集合写真		

参考資料

1. メンバー一覧 (平成 28年11月~平成 30年1月)

No.	氏 名	所属	任 期	WG	備考
1	浅野 拓馬	(株) 荒谷建設コンサルタント	H28.11~	業界PR	
-	小田 優佳	(株)荒谷建設コンサルタント	H28.11~H29.4	合宿	
2	若松 恭一	(株)ウエスコ	H28.11~	生産性向上	副代表
3	八田 将希	(株)ウエスコ	H28.11~	業界PR	
4	長松 寛泰	(株)宇部建設コンサルタント	H28.11~	生産性向上	
5	井藤 理一朗	(株)宇部建設コンサルタント	H28.12~	合宿	
6	高木一毅	(株)エイト日本技術開発	H28.11~	合宿	
_	千野 駿也	(株)エイト日本技術開発	H28.11~H29.4	業界PR	
7	江口 憲	(株)エイト日本技術開発	H29.6~H29.12	業界PR	
8	笹間 将平	シンワ技研コンサルタント(株)	H28.11~	生産性向上	
9	烏田 晃平	大日本コンサルタント(株)	H29.6~	生産性向上	
10	大羽 裕之	大日本コンサルタント(株)	H29.6~	業界PR	
11	杉原 成満	中電技術コンサルタント(株)	H28.11~	業界PR	WG リーダー
12	桑田志保	中電技術コンサルタント(株)	H28.11~	_	代表
-	久場 貴博	(株)ヒロコン	H28.11~H29.12	生産性向上	
-	坂本 弘樹	(株)ヒロコン	H28.11~H29.12	業界PR	
13	吉岡 隼也	(株)ヒロコン	H29.12~		
14	木俣 圭佑	(株)ヒロコン	H28.11~	合宿	副徳 WGリーダー
-	船本洋司	(株 福山コンサルタント	H28.11~H29.4	生産性向上	
-	河内 健	(株 福山コンサルタント	H29.4~H29.12	生産性向上	
15	江刺 宏紀	(株)福山コンサルタント	H29.12~		
16	天野 佑介	復建調査設計(株)	H28.11~	生産性向上	WG リーダー
17	森三千浩	復建調査設計(株)	H28.11~	業界PR	

2. 定例会議事録

定例会一覧(平成28年11月~平成30年1月)

日程	項目	主な内容
H28.11.24(木)	第1回定例会	・顔合わせ、テーマ出し、役職決定
H28.12.16(金)	第2回定例会	・活動グループ(WG)及びWG リーダー決定
H29.4.21(金)	第3回定例会	・WG 活動内容討議
H29.6.23(金)	第4回定例会	・交流会詳細決定 ・生産性向上アンケート調査結果の紹介 ・リクルート用業界説明資料作成について
H29.8,2(7K)	第5回定例会	・交流会現地見学会内容について決定 ・業務効率化表彰に関するアンケートを実施 ・土木学会イベント・パスタブリッジコンテスト準備
H29.9.13(水)	第6回定例会	・防災員会青原委員長による出前講座の説明 ・交流会での発表内容確認
H29.10.17(火)	第7回定例会	・交流会、建設技術フォーラム内容確認
H29.11.28(火)	第8回定例会	・HP リニューアル検討委員会より HP 運営方法等について説明 ・次年度活動内容についてアイデア出し
H29.12.21(木)	第9回定例会	・今年度活動総括及び次年度活動について

建設コンサルタンツ協会 中国支部 総務部会 若手技術者の会

第1回 若手技術者の会 議事録

【日 時】平成28年11月24日(木)15:00~17:20

【場 所】日本技術士会中国本部会議室

(〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階)

來山

記

録

【出席者】 若手技術者の会 ■小田 優佳、■浅野 拓馬、■若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、

■:出席 □:欠席 ■高木 一毅、■千野 駿也、■笹間 将平、■杉原 成満、■桑田 志保、

■久場 貴博、■坂本 弘樹、■木俣 圭佑、■船本 洋司、■天野 佑介、

■森 三千浩

総務部会 ■來山 尚義、■山中 俊二、■河野 清

事務局 ■長岡 隆 本部若手の会 ■伊藤 昌明

出席者 21名

【配布資料】 資料-0 議事次第

資料-1 中国支部若手技術者の会の設立について

資料-2 各支部の活動状況について

資料-3 活動テーマ (案)

資料-4 中国支部若手技術者の会名簿

【議事内容】(以下、敬称略)

- 1. 若手技術者の会設立経緯について(來山総務部会長)
- 2. 自己紹介
- 3. 本部若手の会活動状況について(建コン本部 伊藤)
- 4. 各支部の活動状況について(來山総務部会長)
- 5. 活動テーマについて
 - ・以下の2テーマを中心に絞り込んだ。
 - ①建コン業界のPR
 - ・PR 先

大学・高専生などに、就職先として PR する

小中学生に将来の職業として PR する

一般の方に建設業のイメージアップを含めて業界を知ってもらうなど

・PR 方法

小中学生を対象とした現場見学会、職場見学

就職説明会

技術発表会

インターンシップ生への説明会 など

- 業界の認知をしてもらう
- 業界の魅力の再発見
- ② 生産性向上について
 - ・生産性向上を図るための課題解決
 - 長時間労働削減に向けて
- 6. 若手技術者の会の運営について
 - ・中電技術C・桑田を代表に、ウエスコ・若松、ヒロコン・木俣を副代表に選任した。
- 7. 今後の活動について
 - ・次回の会議 12月19日(月)15:00~2時間程度

以上

建設コンサルタンツ協会 中国支部 総務部会 若手技術者の会

第2回 若手技術者の会 議事録

【日 時】平成28年12月19日(月)15:00~17:20

【場 所】日本技術士会中国本部会議室
(〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階)

【出席者】 若手技術者の会 ■小田 優佳、■浅野 拓馬、■若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、■:出席

■井藤 理一朗、□高木 一毅、□千野 駿也、■笹間 将平、■杉原 成満、

■桑田 志保、■久場 貴博、■坂本 弘樹、■木俣 圭佑、■船本 洋司、 総務部会 ■天野 佑介、□森 三千浩

事務局 ■來山 尚義、■山中 俊二、■河野 清

■長岡 隆

出席者 18名

【配布資料】 資料-1 議事次第

資料-2 参加者一覧

資料-3 前回議事録

資料-4 活動テーマについて

資料-5 合宿について

参考資料 他業界における PR 資料

リクルート活動 中国支部対象校一覧

【議事内容】(以下、敬称略)

- 2. 総務部会長來山さんより挨拶、引き継ぎ(來山総務部会長)
- 2. 自己紹介(井藤)
- 3. 本部若手会の報告(若松)
 - ①働き方改革

□:欠席

テレワークの導入…ICT を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

- ・現場とオフィスの情報共有、移動時間の有効活用
- ・客先やメンバーとのやり取りは電話・メール・TV 会議などを使用
- →サテライトオフィス実現に向けて検討中。
- ②若手の会 HP 作成
 - ・入職者増(業界外)、若手の会の活動共有(業界内外)を目的とする。
 - →来年公開を目指す。
 - → (來山総務部会長) 中国支部は来年 HP をリニューアルする予定。中国支部若手のページを作成すること も可能。
- 4. 活動テーマについて
- ・以下の2テーマについて、4グループに分かれてディスカッションを行い、意見を挙げた。
- (1) テーマ①建コン業界の PR について
- ○大学生・高専生対象
 - ・現場見学(大学の授業などで、実際に目にしてもらう)
 - ・学生と直接話をして、技術力やかっこよさなどを PR する
 - ・県・建コン・ゼネコン共催の職場見学(測量・設計業界が実施?)
 - →業界の魅力・内容、公務員との違いなどを整理してから PR する必要がある。
 - ・土木分野の学生だけでなく、経済など他分野の学生にも PR する
- ○高校生対象
 - 大学等のオープンキャンパスとタイアップ

○小中学生対象

- ・科学実験などの実施(例: NHK すいエんサー)
 - →土木学会中国支部が土木実験教室を夏休みに実施中(1時間半程度。共催なども可能と思われる。)
- ・トミカとのコラボで街づくりコンテストなど、楽しいイベントの開催
- ・砂遊びと建コンの現場のつながりを知ってもらう展示(テーマパークのような)
- ・イベントの様子などをネット配信、拡散してもらう
 - →個人情報への配慮が必要。

○その他

- ・子供だけでなく、親や先生にもPRしていく必要がある
- ・建コンの魅力について再整理する必要あり。また、異業種などいろいろな視点から建コン業界の魅力についてヒアリングしたい。
- ・他業界等(土木学会、日本建設業連合会)の実施状況を整理し、コラボや他がしていないことをしてはどうか

上記の意見をもとに、次回会議で具体策を検討する。

(2) テーマ②生産性向上について

・生産性が高い…少ないコストで大きな結果(短時間×少人数×難易度高いもの)

○個人スキル向上

- ・講習会、交流会の実施(モチベーション向上や離職者減少対策として)
- 技術部会実施の講習会への参加促進
 - →広島以外へのweb配信、サテライト研修(本部はDVDを配布している)。
- 社員の意識改革
- ・発想力・アイデア力を養う講習会等
- ○時間効率化・労働体制改革
 - ・他業界における効率化の事例収集
 - ・IT・AI の導入
 - ・分業化
 - ・ノー残業デーや有給消化等の施策をトップダウンで実施
 - →各社の経営層との意見交換。
 - テレワークの実施
 - →セキュリティの問題あり。発注者と一緒に考えていく必要あり (TV 会議システムの導入による会議の削減等)。
 - ・フレキシブルタイムの導入(週間で調整)
 - ・集中タイムの導入(客先からの電話対応をしない時間)

○発注者と協力

- ・ウィークリースタンス (月曜日を期限にしない、水曜日は定時帰宅、金曜日に依頼しない) の実施 →中国支部も要望を出しており、今後浸透すると思われる。
- ・仕事量の調整・金額等について協定を結ぶ
 - →逆にこちらが苦しくなる可能性も。

○労働力増加

- ・女性社員増加 (職場の雰囲気改善)
 - →女性の働きやすい職場環境の整備(社内託児所等)
- · 再就職支援

○ミス・手戻り防止

・(総務部会山中委員) チェックする時間、組織運営の中で改善される項目がないか上記の意見をもとに、次回会議で具体策を検討する。

5. 今後の活動について(桑田)

- (1) 大学訪問に関して(來山総務部会長)
 - ・リクルート活動(資料)のとおりプレゼンを実施する予定(呉工専はなしに変更)。
 - ・対象は学部3年生及び大学院1年生、全員参加か自由参加かは訪問先による。
 - ・各校に本メンバーから1名同行してもらいたい。
 - →鳥取大学へは笹間さんが同行する予定。残りの訪問先への同行者については後日調整。

(2) 合宿に関して

- ・本部メンバーとの意見交換やグループディスカッション、各支部の取り組み紹介などを行う予定。
- ・日程は昼~夕方。夜は懇親会。
- ・中国支部の会員企業からも参加者を公募する。近畿支部では **100** 名程度で実施したが、それよりは小規模になるだろう。
- →開催決定。今後詳細企画。
- (3) 活動グループ決定 (○: リーダー)
- ①業界 PR : ○杉原、浅野、八田、坂本、森
- ②生産性向上 : ○天野、若松、長松、笹間、久場、船本
- ③合宿 : ○木俣、井藤、小田
- ・次回会議は4月に実施予定。
- 6. その他(桑田)
 - ・本会議は建設コンサルタンツ協会の CPD に登録可能。 (形態内容:委員会への出席、エビデンス:議事次第及び参加者一覧)。

以 上

第3回 若手技術者の会 議事録 【日 時】平成29年4月21日(金)13:30~17:00 記 【場 所】日本技術士会中国本部会議室 長松 録 (〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階) 【出席者】 若手技術者の会 ■小田 優佳、■浅野 拓馬、■若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、 ■:出席 ■井藤 理一朗、■高木 一毅、□千野 駿也、■笹間 将平、■杉原 成満、 □:欠席 ■桑田 志保、■久場 貴博、□坂本 弘樹、■木俣 圭佑、■船本 洋司、 ■河内 健、■天野 佑介、■森 三千浩 □來山 尚義、□山中 俊二、□河野 清 総務部会 事務局 □長岡 隆 出席者 16名 議事次第 【配布資料】 資料-1 参加者一覧 資料-2 前回議事録 資料-3 リクルート活動報告 **資料-4** 本部若手の会全国大会資料 参考資料 全国大会用意見聴取

【議事内容】(以下、敬称略)

- 1. 自己紹介(河内)
- 2. リクルート活動報告・・・資料-3 参照
 - ・2016年1~2月に開催されたリクルート活動(業界説明会)のうち、若手技術者の会が同行した6箇所について報告を行った。
 - 説明用資料がわかりにくい、対象としては就職活動前の3年生が好ましいという意見が多かった。
 - ・業界説明であれば開催時期はもっと早い時期でも可能ではないかという意見が出た。また、業界として大学・ 高専へインターンシップの募集をかけてみてはどうかとの意見が挙がった。
 - ・高専での説明の際に就職後の処遇等について心配する声が挙がってきており、卒業生を例にモデルケースを示すことでイメージがつきやすいのではないかとの意見があった。
- 3. 第1回建コン若手技術者全国大会報告(杉原)・・・資料-4参照
 - ・2017年4月7日に開催された全国大会について報告を行った。
 - ・今後の展開については5月18日開催予定の本部若手の会で検討する。
- 4. 各 WG 活動
 - ・各WGで討議を行い、活動内容について発表を行った。
- (1) 合宿 WG
 - ・開催日:10月27日(金)~28日(土)
- ・会場:第1候補:広島市まちづくり市民交流プラザ、第2候補:広島県立総合体育館
- ・懇親会:お好み村(お好み焼き体験)
- ・テーマ、各支部・本部の参加者、宿泊先については今後調整する。
- (2) 業界 PRWG
- ①業界説明資料の改善
- 業界説明資料をより分かり易くするため、中国支部若手技術者の会版の説明資料を作成する。
- ②PR 動画(建コンが本気で〇〇をしてみた)
- ・③の体験学習を若手技術者の会メンバーが実施した動画を撮影し、HP等で紹介する。
- ③子どものあそび場体験学習
- ・小学生を対象に建コンの仕事を遊びながら学んでもらう。期間は夏休みを考えている。

- ・パスタ (もしくは段ボール) ブリッジコンテスト、マシュマロチャレンジ、砂山トンネル、ペットボトル雨量計、マジックロードカーによる都市計画 (+GoPro) など。
- ・土木学会や技術士会中国本部青年技術士交流委員会との共催が可能か検討する。

(3) 生產性向上WG

- ・生産性向上に関して各社の取り組み状況を整理するとともに、他業種の取り組み事例を収集する。
- ・上記を踏まえ、中長期的な取り組みも視野に入れて具体的な活動内容について検討を行う。
- ・発注者協議における Web 会議の導入について検討を行う。
- ・生産性向上に関する講習会の開催、経営者との意見交換会などの実施を検討してはどうかという意見が出た。

5. その他(桑田)

- ・次回全体会議は6月に実施予定。
- ・予算確保が必要なものに関しては、企画書を作成する。
- ・転勤等に伴い、小田優佳、千野駿也(後任:選定中)、船本洋司(後任:河内健)の3名が退会する。

第4回 若手技術者の会 議事録

【日 時】平成29年6月23日(金)13:30~17:00
【場 所】日本技術士会中国本部会議室
(〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階)

【出席者】 若手技術者の会 ■浅野 拓馬、□若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、■井藤 理一朗、

■:出席 □:欠席

■高木 一毅、

■高木 一毅、□江口 憲、■笹間 将平、■烏田 晃平、□大羽 裕之、

■杉原 成満、■桑田 志保、■久場 貴博、□坂本 弘樹、■木俣 圭佑、 ■河内 健、■天野 佑介、□森 三千浩

総務部会 ■來山 尚義 事務局 □長岡 隆

出席者 14名

【配布資料】 議事次第

資料-1 参加者一覧

資料-2 前回議事録

資料-3 本部若手の会資料

資料-4 東北合宿資料

資料-5 生產性向上 WG 資料

【議事内容】(以下、敬称略)

1. 自己紹介(鳥田)

生産性向上WG に配属

- 2. 本部若手の会報告(桑田)・・・資料-3、4参照
 - 1) 2017年5月18日に行われた本部若手の会の報告
 - ・今後の方針としては、①広報 WG、②アクション WG、③支部連携 WG に分かれて活動していく。
 - ①広報 WG:メルマガ、フェイスブックの運営、ポータルサイトの構築を行う。
 - ②アクション WG: 3change に向けたアクションを検討、実行する。(例:経営者との座談会等)
 - ③支部連携 WG: 各支部との連携、ガバナンスのあり方を検討、実行する。
 - 2) 2017年6月2~3日東北支部交流会の報告
- 3. 各 WG 活動
 - ・各WGで討議を行い、活動内容について発表、質疑を行った。
- (1) 合宿 WG
 - ・開催日:10月27日(金)~28日(土)を予定している。
 - ・会場:ひろしま市民交流プラザを予定
 - · 内容: 27 日
 - i) 交流会
 - ・本部若手の会の活動紹介、各支部の活動紹介:本部委員
 - ・中国支部の活動紹介: 各 WG リーダー
 - ・グループディスカッション:テーマは生産性向上、業界PR
 - ii) 懇親会:広島市内で検討中

28 日

- i)現地見学会 安佐南区8.20土砂災害現場を検討中
 - →太田川河川事務所から了承を得る必要があるため、まずは総務部会に企画書を提出し、総務部会 経由で依頼をしていただけないか打診。

移動手段、ヘルメット等の手配を検討中。

- ii) 昼食: お好み焼き共和国でのお好み焼き体験
 - → (來山) 支部長等への声掛けを検討すること。

- ⇒他の支部での交流会では声掛けしたが出席はされていない。
- → (來山) 梅林の復興後援会でも現場見学や体験談の講演等は可能。 復興後援会でもお好み焼きを食べることも可能。ヘルメットを借りることができ、見学可能な場所もあり長靴は必要なし。参加時は梅林駅に現地集合。見学会参加時の資料が残っていれば提供する。社有車を使う場合は会社との調整を十分注意すること。
- ・予算:本部費用(会場費)+参加費でまかなう予定。
- ・参加者: 27日: 50名程度(本部委員 20名程度、中国支部委員 18名、中国支部会員 12名程度) 28日: 40名程度(本部委員 20名程度、中国支部委員 18名)を予定。
- ・PR: 交流会の PR としてポスターを作成する。
- (2) 生產性向上 WG
- ①アンケート調査結果
- ・アンケート結果より興味を引かれた事例に対しての聞き取り。紹介。
 - →「youthtalk 若手社員プレゼン大会」: 若手中心に発足。生産性には直接の関係は明確ではないが、大会を きっかけに、プロジェクトチームの立ち上げ等の実績がある。
 - →「業務効率化表彰」: 各部からの申請のうち審査を通し、表彰。基準があいまいなため近年申請なし。
 - →「技術アシスタントの確保検討」: 概ね社員1人に対し、技術アシスタントを1人配置し、作業量の減少を 図っている。
- ・ノー残業デーは各社実施しているが、問題点があるため、今後は解決に向けた検討を行う。
- ・合宿でテーマとして挙げるのであれば、全国(本部)の方のアイデアも頂きたい。
- ・他業種の取り組み事例を収集する。

②Web 会議

- ・発注者のメリット等について、引き続き検討を行う。
 - → (來山) 協議回数が多い要因は受発注者どちらにあるのか?どういう打合せだったら Web 会議を導入できそうか?などを整理をしておいてほしい (中国支部として発注者と協議する機会があれば、議題に挙がる可能性があるため)。
- (3)業界PRWG
- ①子供を対象とした体験学習
 - ・8月7日の土木学会の実験教室に参加予定。(業界 PRWG メンバーを予定)
 - ・中電技術のパパママ迎えに来たdayで子供を対象に試行的にイベントを行えるか、会社に打診予定。
 - ・今年度は他団体のイベントに参加し、来年度の実施内容を計画する予定。
 - → (來山) 防災委員会や地域計画委員会が小学校の出前講座なども実施している。検討してはどうか。
- ②リクルート用業界説明資料作り
 - ・現在の本部資料は著作権等の関係で変更できないため、別途、若手目線で魅力がわかるものを作成したい。
 - → (來山) 現在の本部資料について抜粋利用することが可能か本部に確認中。リクルート活動は 10 月~3 月頃で開催予定。できれば若手技術者中心に説明してほしい。
 - ・10月頃の説明会に合わせ、9月末頃に向け第一弾を作成。
 - ・11月10~11日に建設技術フェアが開催される。出展は進捗等含めて検討。
- 4. その他(桑田)
 - ・次回全体会議は1か月後に実施予定。日程は別途調整。
 - ・予算確保が必要なものに関しては、企画書を作成する。
 - ・千野駿也の後任に江口憲、新規に烏田晃平、大羽裕之の3名が入会。

第5回 若手技術者の会 議事録 【日 時】平成29年8月2日(水)13:30~17:00 記 浅野 【場 所】復建調査設計株式会社(広島市東区光町二丁目 10-11) 【出席者】 若手技術者の会 ■浅野 拓馬、■若松 恭一、□八田 将希、■長松 寛泰、■井藤 理一朗、 ■:出席 □高木 一毅、□江□ 憲、■笹間 将平、■烏田 晃平、■大羽 裕之、 □:欠席 ■杉原 成満、■桑田 志保、■久場 貴博、□坂本 弘樹、□木俣 圭佑、 □河内 健、■天野 佑介、■森 三千浩 総務部会 ■來山 尚義 事務局 □長岡 隆 出席者 13名 議事次第 【配布資料】 資料-1 参加者一覧 資料-2 前回議事録 資料-3 本部若手の会(第20回定例会+α)資料 資料-4 業界PRWG資料 資料-5 合宿 WG 資料

【議事内容】(以下、敬称略)

1.新メンバー紹介(大羽)

⇒ 江口、大羽は【業界 PRWG】に配属決定。

2. 本部若手の会の報告(若松)

(1) 以下3つのWGにおいて活動中。

1) 広報 WG

- ・メルマガ配信、アンケート調査の実施等。
- ・建コンポータルサイト (HP) を作成中 (資料-3 P8~)。12 月末までに作成予定。

2) アクション **WG**

- ・今年度の具体的なアクションについて検討を行っている。(資料-3 P20~)
- ・次回本部若手の会 (8/21) にて、パシフィックコンサルタンツ(株)社長 (元・建コン会長) を招き、 座談会を開催予定。
- ⇒ 参加希望者は若松まで連絡。

3) 支部連携 WG

- ・各支部との連携方法や本部ガバナンス機能の方向性を検討中。
- ・中国支部の窓口は若松が担当。

(2) その他

- ・テーマソング「MOVEMENT」: 既にユーチューブにアップされているので、チェック!
- ・次回本部若手の会(8/21)にて、合宿について現状報告を行う。

3. 各級活動

(1) 合宿 WG

以下、現状報告(資料-5 P47~)。

- ・会場は「広島市まちづくり市民交流プラザ」に決定(予約済み)。
- ・タイムスケジュールにおいて、生産性向上 WG の要望により、《中国支部における取り組み紹介》の時間を 15 分から 20 分に変更。
- ・一日目の参加人数は、本部若手の会 20 名、中国支部 18 名、その他公募 20 名を予定。
- ・二日目の現地見学会の参加は本部若手の会 20 名、中国支部 10 名(後日調整)の予定。内容について、「復興交流館モンドラゴン」へ問い合わせをしたが反応がないため、総務部会より企画書案の了

解がとれ次第、太田川河川事務所へ連絡。

・合宿パンフレットの素案が完成。⇒ 後日、総務部会で確認する(來山)。

⇒8/8:企画書案について支部長確認済

(2) 生產性向上WG

- ・以前、中国支部内で実施したアンケート調査結果をもとに議論を進めた。
- 1) 技術アシスタントの検討
 - ・派遣や育成組織について、CAD技術向上、アシスタントは建コン業界専用なのか等。
- 2) 業務効率化表彰について
 - ・各社社内表彰の選定基準等に関するアンケート調査(中国支部メンバー内)を実施したい。
 - ・詳細は、後日メール等にて連絡する。
- 3) その他、今後議論を進めたい内容
 - ・ノー残業デーの徹底について
 - ⇒ 中国合宿グループディスカッションでは、これをメインテーマとして進めたいと考えている。
 - ⇒ 8/21 の本部若手の会にて報告するため、タイトルを連絡してほしい(桑田)。
 - ⇒ 8/8:タイトルは元のまま(生産性向上における課題と解決策)
 - ・他業種の生産性向上に関する事例収集を実施したい。
 - ・Web 会議について今後検討を実施する。

(3)業界PRWG

- 1) リクルート資料の作成
 - ・視覚的に建コンの魅力が伝わるような資料を作成する。建コンで働く若手社員にスポットをあて、 各若手社員のキャリアステップや思い等をまとめる(素案は作成済み)。
 - ⇒ まずは、業界 PRWG メンバーの紹介資料を作成し、最終的には中国支部全員の紹介資料を作成したいと考えている。
 - ・リクルート活動の際、持ち時間が60分の場合はその内の20~30分程度、若手で話をしてほしいと考えている。リクルート活動は、10月頃より各方面と調整を進めて行く予定(來山)。
- 2) 子ども向けイベント実施に向けた知見収集活動
 - ・土木学会主催夏休みイベントへ参加(資料-4 P38~)
 - ⇒8/21 土木学会主催の夏休みイベントに、桑田、杉原、森、浅野がお手伝いという形で参加する。
 - ・パスタブリッジコンテストの模型実験(資料-4 P46~)
 - ⇒中電技術コンサルタントが 8/23 に開催する「パパ・ママ迎えに来た DAY」内で、パスタブリッジコンテストを実験的に実施する(中電技術コンサルタント了承済)。
 - ⇒本日実際に時間をはかり作成してみたが、予定している時間 (**60** 分) では短すぎるということ が分かった。材料を事前に切っておくなど工夫が必要である。
 - ⇒参加希望者は8/9までに杉原に連絡する。

※ 情報共有(來山)

- ・事務局長岡さんより、道の駅に PR ブースを出展しないかという話をもらった(場所やブースの詳細等は不明)。
- ・ 六本木フジフィルムビルや川口道の駅で、臨時展示 (建コンフォト賞などの展示) を行ったことがある。

4. その他

- (1) 「建設技術フォーラム 2017in 広島」について
 - ・11月10~11日に広島中央公園にて開催。
 - ・建コン協会で数ブース確保するため、若手技術者の会で出展するという意向があれば、お盆明けくらいまでに、意思表示をしてほしい。出展料が10万円/1ブースであり、予算的に1ブースは難しいため、半ブースの出展となる予定である。(來山)
 - ⇒生産性向上 WG よりも業界 PRWG の方が、比較的趣旨にあっていると思われるため、出展する

かどうか検討する。

(2) 次回全体会議について ⇒ 9月初旬~中旬に実施予定。日程は別途調整。

以」

第6回 若手技術者の会 議事録

【日 時】平成29年9月13日 (水) 13:30~17:00

【場 所】中電技術コンサルタント (広島市南区出汐二丁目 3-30)

【出席者】 若手技術者の会 ■浅野 拓馬、■若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、■井藤 理一朗、■:出席
□:欠席

□:欠席

□だた席

□だたの。

□だり、□だり、□だり、□にします。 □だり、□にします。 □にします。 □に

総務部会事務局□長岡隆防災委員会■青原啓詢

出席者 17名

【配布資料】 議事次第

資料-1 参加者一覧

資料-2 前回議事録

資料-3 建コン中国支部防災委員会出前講座資料

資料-4 本部若手の会(第22回定例会)資料

資料-5 合宿 WG 資料

資料-6 生產性向上 WG 資料

資料-7 業界 PRWG 資料

【議事内容】(以下、敬称略)

5. 建コン中国支部防災委員会出前講座について(青原委員長)

(1)出前講座への協力について

⇒出欠についてとりまとめる(杉原)

6. 本部若手の会の報告(若松)

- (1) 以下3つのWGにおいて活動中。
 - 1) 広報 WG
 - ・建コンポータルサイト(HP)を作成中。10/27の若手技術者交流会 in 中国でリリース予定。
 - 2) アクション WG
 - ・「若手社員のしごと観」に関する実施調査を実施。
 - 3) 支部連携 WG
 - ・活動方針、活動内容(案)について検討中。
- (2) その他
 - ・(仮称)建コンアカデミアの開校〜経営者座談会〜 メルマガにて議事録を配信されるので、チェック!

7. 各 WG 活動

- (1) 合宿 WG
 - ・公募: 現時点では1名のみ応募あり(募集: 20名)。各社へ通知を再依頼する。
 - ⇒公募用パンフレットを再送 (9/14 送付:桑田)
 - ⇒公募者用にアンケートを作成(木俣)
 - ・本部参加者:支部代表者を含め、現時点で22名参加予定
 - 支部参加者確認
 - ⇒1 日目:全員参加、2 日目:合宿WG以外では長松(宿泊希望)、坂本が希望。

(2) 生產性向上WG

- 1) 合宿での発表内容について
 - ・残業対策アンケート結果(ppt)について報告する。
 - ⇒グループディスカッションでのテーマ提供(本部メルマガでも紹介予定)

「No 残業 Day の形骸化」

- ・共同派遣会社の設立による技術スタッフの確保について(検討中)
 - ⇒議論が詰まっておらず、支部の意見として提示するのは時期尚早ではないか?
 - ⇒WG の一案として提示(見せ方要注意)
- 2) その他、今後議論を進めたい内容
 - ・Web会議についてメリットデメリットを整理する。

(3) 業界 PRWG

- 1) 夏休み土木実験教室 (8/7(月)、主催:土木学会) への参加報告
 - ・桑田、杉原、森、浅野が参加。
 - ・今後の子供向けイベント企画の参考となったが、事前準備等が大変なため、実施内容については要検 討。
- 2) パスタブリッジコンテスト (8/23(水)、主催:中電技術コンサルタント) の開催報告
 - 桑田、杉原が参加。
 - ・時間配分等について、要検討。
- 3) リクルート資料の作成について
 - ・若手技術者紹介用 ppt を作成中。
- 4) 建設技術フォーラムでの出展内容について
 - ・開催日:11/10(金)~11(土) in 広島中央公園
 - ・ポスター展示 (A1 縦) は以下の 4 枚
 - ・各支部の紹介:業界PRWG
 - ・若手技術者交流会 in 中国の開催結果:合宿 WG
 - ・生産性向上 WG の活動紹介:生産性向上 WG
 - ・CIM にからめた内容: 業界 PRWG
 - ⇒ベースを作成するので、WG 毎にポスターを作成する。
 - ・各支部の紹介や若手技術者紹介用 ppt を動画で流す。
 - 4) 合宿での発表内容について
 - ・今までの活動内容(就活生向け、子供向けの PR 活動) と今後の活動について紹介し、グループディスカッションで意見徴収する。
 - ・今後の活動内容(案):検討中
 - ・オープンキャンパス
 - キッズシティ広島への参加
 - ・中学生向けのインターシップの受け入れ(広島市が主催)
 - ・小学生向け夏休み自由研究教材の作成

8. その他

- (1) 次回全体会議について
 - ⇒ 10/17(火)13:30~、実施場所は別途調整。

第7回 若手技術者の会 議事録 【日 時】平成29年10月17日(火)13:30~17:00 記 八田 【場 所】荒谷建設コンサルタント(広島市中区江波本町 4-22) 【出席者】 若手技術者の会 ■浅野 拓馬、■若松 恭一、■八田 将希、■長松 寛泰、■井藤 理一朗、 ■:出席 □高木 一毅、□江□ 憲、■笹間 将平、■烏田 晃平、■大羽 裕之、 □:欠席 ■杉原 成満、■桑田 志保、■久場 貴博、■坂本 弘樹、■木俣 圭佑、 ■河内 健、■天野 佑介、■森 三千浩 総務部会 □來山 尚義 事務局 □長岡 隆 出席者 16名 議事次第 【配布資料】 資料-1 参加者一覧 資料-2 前回議事録 資料-3 本部若手の会(第23回定例会)資料 資料-4 合宿 WG 資料 資料-5 業界 PRWG 資料

【議事内容】(以下、敬称略)

9. 本部若手の会の報告(若松)

- (1) 広報 WG
 - ・今年度内のスケジュールについて説明。他支部の執筆担当者を増やし、他支部との連携を図る予定。
 - ・Facebook の新規登録者の増加が課題。
- (2) アクション **WG**
 - ・グッドアクションへの応募について説明。
 - ・若手の仕事観アンケートについて、合宿で伊藤代表から発表予定。
 - •10/27 の中国合宿にて HP リリース予定だったが間に合いそうにない。

10. 交流会内容確認(桑田)

・公募は全体で23名となり、交流会全体では67名が参加予定である。

10月27日(金) Day1

- ・第7回資料にタイムスケジュールを示している。中国支部メンバーは、当日12時集合とし会場準備や 受付準備を行う。
- ・交流会の司会進行や写真係は、基本的に合宿 WG メンバー (木俣・桑田・伊藤・高木) で行う。
- ・中国支部の活動パワーポイントの締め切りは10月20日とする。なお、当日資料の配布は行わない。
- ・グループディスカッションに必要な物は、準備済みである。(用紙・マジック・付箋等) 他に必要なものがあれば連絡してほしい。

10月28日(土) Day2

- ・基本的な流れはスケジュール通りであり、服装は動きやすい恰好とする。
- ・雨天の場合は現地見学ではなく、会議となる。会場を抑えているが、天候が不明なため料金未払いと なる可能性がある。そのため、雨天となった場合は中電技術コンサルタント(広島市南区)で会議を 行う。雨天時のスケジュールは伊藤代表に話を通しているため問題なし。

11. 各WG活動

(1) 合宿 WG

- タイムスケジュールの再確認
 - CPD は懇親会後ではなく、交流会終了後に受付にて配布(桑田)
- ・合宿後について

合宿 WG 後の今後の活動を改める必要がある。生産性・業界 PR のどちらかに移動することも考えられるが、新しいWG の立ち上げを行う方向で検討中(広報企画 WG など)(木俣)

⇒次年度の予算申請の関係もあるため、次回会議にて合宿および建設フォーラムの報告を実施すると ともに、次年度のアイデア出しを実施する。総務部会にも出席いただく。(桑田)

(2) 生產性向上WG

・WEB 会議

発注者との会議を対象とし、実現にむけての課題(メリット・デメリット)を整理する。一度、中 国地方整備局との話し合いを行い、発注者の意見を聞きたい。(若松)

- ⇒意見がまとまれば、総務部会を通しての調整は可能(桑田)
- ・業務評価について

アンケート調査で行った業務評価について詳細に検討する。内容は未定。(久場)

(3) 業界 PRWG

・合宿での議題

イベント等を行った後の拡散方法を議論テーマとする。良い案が出れば採用する見込み(杉原)

建設フォーラムについて

内容は若手の会の活動報告、ハンディースキャナー、CIM を用いた事例の3点とする。当日のポスターのデータを11月8日(水)までに杉原に送付。参加メンバーは業界PRメンバーが基本となる。(杉原)

- ⇒他支部の活動を中国支部で報告することについて、他支部の総務部会から疑問が上がっている。 他支部の代表からは了承を得たが、総務部会への説明が必要となる。(若松)
- ⇒当日まで時間が限られているため、他支部の活動ポスターはなしとする。(杉原)
- ⇒今回は時間の関係上、見送ったが、同様のことが今後も発生すると考えられる。本部若手の会の 支部連携 WG が全体の調整を行ってほしい。(桑田)
- ⇒了解。今後の支部間の連携に関わることなので、本部へ持ち帰り検討する。(若松)

12. その他

- (1) 次回全体会議について
 - ⇒11 月中旬で調整、実施場所は復建調査設計。

内容:合宿・建設技術フォーラムの報告、次年度のアイデア出し

⇒12月の会議を今年度最終とし、次年度活動に関するプレゼン大会とする。

- (2) その他
 - 名刺について

中国支部若手の会の活動時に、若手の会をアピールする方法として名刺を作成してはどうか(天野)

⇒総務部会に確認する。(桑田)

⇒市販の用紙に各自印刷する方法で了承を得た。デザイン(案)について確認中。(10/23:桑田)

the second of th			
第8回 若手技術者の会 議事録			
【日 時】 5	平成 29 年 11 月 2	28 日(火)13:30~17:00	記
【場 所】	复建調査設計株式	C会社 別館6階奥会議室	録 坂本
	(〒732-0052 Д	太島市東区光町2丁目10-11)	政化
【出席者】 ■:出席 □:欠席	若手技術者の会	: ■浅野 拓馬、□若松 恭一、□八田 将希、■長松 寛泰、■	井藤 理一朗、
		□高木 一毅、□江口 憲、■笹間 将平、■烏田 晃平、■大	羽 裕之、
		■杉原 成満、■桑田 志保、□久場 貴博、■坂本 弘樹、■	木俣 圭佑、
	総務部会	□河内 健、□天野 祐介、■森 三千浩	
		■來山 尚義、■山中 俊二、■河野 清、□岡本 和也、□杉	山 文敏、
		■香川 昭之介、□宇髙 了介	
	IP リニューアル検討委員会	☆ ■津田 陽平	
	事務局	□長岡 隆	
			出席者 16名
【配布資料】		議事次第	
	資料-1	参加者一覧	
	資料-2	前回議事録	
		中国支部IPについて	
		中国支部活動経過報告	
		交流会報告資料	
		建設技術フォーラム出展報告資料	
		生産性向上についての参考資料	
Table 1 of 1	その他	建設コンサルタンツ協会 IP 編集についての資料	

【議事内容】(以下、敬称略)

- 3. 中国支部 HP の検討状況及び運営方法の説明(HP リニューアル委員会 津田氏)
 - ・HPの更新について、操作方法を説明。若手技術者の会所属委員が更新できるよう ID 及び PW を配布。
 - ・現段階では更新における自由度が少ない上、添付ファイルの容量制限が 8MB など、課題が残る状態。
 - ⇒1月31日の役員会で現時点でのHPの成果報告を行い、2月より公開予定。(來山)
- 4. 活動経過報告
 - (1) 若手技術者交流会 in 中国の実施概要(木俣)
 - ・10月27日(金)~28日(土)に交流会及び現地見学会を開催。(参加者:交流会60名、現地見学会26名)
 - ・交流会は生産性向上、業界 PR について議論。現地見学会は 8.20 広島土砂災害の復旧現場を見学。
 - ⇒交流会は好評であったが、テーマが難しいとの声もあったため、今後の課題となる。
 - ⇒結果としては目新しい意見は無かったが、メンバーにとっての意識向上につながり、良い刺激となった。
 - (2) 若手技術者の会 一年間の活動報告(桑田)
 - ・今年の活動を説明
 - ⇒今後は来年度の活動内容を決め、予算を検討する。
 - (3) 建設技術フォーラム 2017in 広島での出展(杉原)
 - •11 月 10 日(金) ~11 日(土) に広島中央公園で開催された建設技術フォーラム 2017in 広島に若手技術者 の会として出展。
 - ・来場者の割合は業界関係者が多く、親子、学生等一般の来場者は少なかった。
 - ・展示内容は土木実験の紹介、i-con 関連の技術紹介、ポスター、リクルート用に作成した若手技術者紹介の スライドによる活動紹介を行った。
 - ⇒モニター、ポスターの展示物が見づらく、活動内容の説明が消極的であった。
 - ・業界 PRWG がメインターゲットとする学生、保護者の来場が少なく、対象への PR 活動が効果的ではない。

- ・2 日目は土木実験の実演を実施し、わかりやすいと好評だった。
- ・来年の出展については検討が必要。
- 3. 全体討議:次年度の活動内容について
 - (1) 生產性向上 WG (副代表代理補佐: 長松)

(残業削減のための解決策について)

- ・今まで議論に挙げてきた派遣のアシスタント育成、確保は実現困難であり、多くの課題が残るため、打ち切りとする。
- ・講師を招き、生産性向上をテーマとした講演会を実施。
 - ⇒時期は10~11月頃、テーマや受講対象者等、検討が必要である。
 - ⇒会場費、講師の謝金が発生するため、予算申請が必要となる。交流会で作成した会場費のリストを木俣から提供してもらうこと。(桑田)

(表彰制度について)

・表彰制度以外で社員のモチベーション向上への取り組みがあるか、他業界も含めアンケート調査を実施。 ⇒結果を各社に提供し、紹介する。

(Web 会議について)

- ・まずはメンバー間で実施し、メリット、デメリットを整理
- ・社内、対協力会社、対発注者と段階を踏みながら実施し、課題を整理する必要あり。
 - ⇒中国地整内ではWeb 会議が一部で実施されている。意見交換を実施してはどうか。(杉原)
 - ⇒中国地整との意見交換会は来年度実施することを目標。そのためにも会議のレベル、課題を整理し準備をする必要がある。(長松)
- (2) 業界 PRWG (杉原)
- ・4~6 月:建コン業界での交流会実施。土木実験についてアイディア募集を行い、6 月実施予定の交流会で 実演、HP に公開しPR。
- •8月:夏休み中の子供たちを対象としたイベント (パスタブリッジコンテストを想定) 開催 (予算:¥30,000-)
- •9月: ひろしまキッズシティへの参加。子供たちを対象に街づくりをテーマに PR を実施 (予算: ¥80,000-)
- ・10~11 月: 土木業界の若手職員を含めた交流会の実施(対象: 建コン、土木学会、技術士会等)。土木業界の PR 方法について検討する。交流会実施に向けて、4~5 月に技術士会青年部会や土木学会とプレ意見交換を実施。
- 12月~:リクルート活動
- ⇒建設技術フォーラムへの出展は行わない。他にオープンキャンパスへの参加、土木の日にレゴを使ったイベント開催案が挙がったが、要検討。PRWG内で班を分割し、担当を決めていくことも検討。
- 4. その他(桑田)

(防災委員会出前講座について)

- ・以下のとおり防災委員会主催の出前講座があり、2~3名の協力要請あり。
 - ·12月18日(月)10:45~12:00 三入小学校(対象:小学6年生)

⇒参加者;桑田、木俣、(杉原)

(リクルートについて)

- ・今年度のリクルートの予定は以下のとおり。参加者については別途調整する。
 - ·1月23日(火) 8:50~10:20 松江高専
 - ・1月24日(水) 10:15~11:45 島根大学
- ・業界 PRWG 以外のメンバーは、リクルート用の若手技術者紹介資料(パワーポイント)を作成し、提出すること。(提出先: 浅野)
 - ⇒12月中に提出された資料は1月のリクルート資料に反映することとする。
- ・リクルート用資料の印刷費については、確認し、追って連絡する。

(次回開催について)

・日程、内容については別途調整する。

以 上

第9回 若手技術者の会 議事録 【日 時】平成29年12月21日(木)13:30~17:00 記 【場 所】日本技術士会中国本部会議室 大羽 録 (〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階) 【出席者】 若手技術者の会 ■浅野 拓馬、■若松 恭一、□八田 将希、■長松 寛泰、□井藤 理一朗、 ■:出席 ■高木 一毅、□江口 憲、■笹間 将平、■烏田 晃平、■大羽 裕之、 □:欠席 ■杉原 成満 (WEB 会議)、■桑田 志保、□久場 貴博、□坂本 弘樹、 ■木俣 圭佑、■吉岡 隼也、□河内 健、■江刺 広紀、■天野 佑介、 ■森 三千浩 総務部会 □來山 尚義 事務局 □長岡 隆 出席者 14名 議事次第 【配布資料】 資料-1 参加者一覧 資料-2 前回議事録 防災委員会出前講座資料 資料-3 資料-4 本部若手の会(第24回定例会)資料

【議事内容】(以下、敬称略)

1.自己紹介(吉岡、江刺)

・江口(後任:選定中)、久場・坂本(後任:吉岡)、河内(後任:江刺)の4名が退会

・吉岡、江刺:生産性向上WGに配属

2.活動報告

(1) 12/18 (月): 防災委員会出前講座 (木俣)・・・資料-3 参照

資料-5 平成29年度活動報告書 資料-6 平成30年度活動計画

- ・三入小学校の6年生を対象に実施。災害の説明及びハザードマップ作成。
- ⇒説明の後半部分が専門的で難しい。また、説明時間(45分間)が長く、集中力が持たない子供がいた。
- ⇒ハザードマップ作成の自宅位置を記入する際に、地図の縮尺が小さく時間がかかったため、あらかじめ 自宅を図面に書き込んでもらう等の工夫が必要である。
- (2) 12/1 (金): 本部若手の会(若松)・・・資料-4参照
 - · 広報 WG
 - ⇒ポータルサイト開設が予定より遅れている。1月に新しい情報が入り次第、随時報告。
 - ⇒メルマガの添付資料を外部サイトの URL 参照としていたが、セキュリティの関係上、アクセスできない 会社があるため、ポータルサイトへの掲載等の対策を立てる必要がある。
 - ・アクション WG: 今までの議論を基に本部宛に「要望と提案」を整理。 1月に総務部会に提出。
 - ・本部若手の会は建コン協会の表彰制度に申請予定
 - ⇒支部若手技術者の会も申請できないか(確認)。
- 3.全体討議:次年度の活動内容について
- (1) 生產性向上 WG
- ①生産性向上に関する講演会の実施
 - ・対象:中国支部の会員企業
 - ・スケジュール:4~5月 講師とテーマ決定、6月 具体的な活動決定、10~11月 講演会開催
- ②社員モチベーションアップに関する事例収集
 - ・スケジュール:4月 事例収集、アンケート作成、5月 アンケート実施(事務局から会員企業に送付)、
 - 6月 アンケートとりまとめ、年内にアンケート結果公表

③WEB 会議の導入検討について

- ・国交省若手組織に参加する中国地整職員との協議を予定。
- ・スケジュール:4月 ビデオ会議・WEB 会議等のメリットデメリットのまとめ 5~7月 ヒアリング案の決定、国交省と協議の調整 8月 意見交換の実施(国交省若手組織に参加する中国地整職員)
- (2) 業界 PRWG
- ①土木実験教室アイディアコンテストの開催:6月末開催(担当:◎杉原、浅野、高木)
 - ·会場:復建調查設計会議室(確認中)
 - ・スケジュール:4月 ビラ作成、会場決定、4月末~6月上旬 アイディア募集、 6月中旬 材料等の準備、6月末 交流会形式で開催、 7月 アイディアとりまとめ(教材としてHPで公開)
- ②夏休み土木実験教室の開催:8月開催(担当:◎木俣、森、大羽)
 - ・日程: 8月4日(土)、18日(土)、19日(日)のいずれか
 - ・会場:第1候補 広島市まちづくり市民交流プラザ (工作 OK を確認済) 第2候補 東区民文化センター (工作実習室:8/19 仮押さえ済)
 - ・対象:親子(1家族2~3人)10組×2グループ
 - ・スケジュール:2月上旬 会場仮押さえ、4月上旬 ビラ作成、5月中旬 広島市教育委員会に提出、 6月末~7月中旬 募集期間、6~7月 準備、8月 開催
 - ・備考:広島市の市民アカデミー事業の補助申請検討、土木学会及び技術士会の動向を確認(森・木俣)、 広島市教育委員会への投げ込みが必要なため、早めに企画書を作成する必要あり
- ③ひろしまキッズシティへの参加:9月中旬参加(担当:◎浅野、杉原、高木)
 - ・内容:ハザードマップの作成、測量・3Dスキャナ体験、土木実験、街づくり など
 - ・スケジュール: 4~5月 企画検討、6月上旬 申し込み、6月中旬~9月上旬 説明会・会議等、8月上旬~9月中旬 準備、9月中旬 本番
- ④若手技術者の会の開催:10月末開催(担当:◎森、木俣、大羽)
 - ・他団体(土木学会及び技術士会)との意見交換後に開催日決定
 - ・スケジュール:4月 他団体との意見交換、4月末 会場予約、5月末 事務局会議、6~8月上旬 テーマ 検討ほか、8月中旬 事務局会議、9~10月上旬 参加者募集、10月末 開催
- ⇒予算案のブラッシュアップ (1月中)、各活動の企画書を作成 (4月)

4. その他(桑田)

- (1) 出前講座、リクルートの調整
 - 防災委員会の出前講座、リクルート活動の参加者について調整を行う。(別途連絡:桑田)
 - ・リクルート資料はでき次第、全員に配信。(浅野)
- (2) 本部若手の会「就労環境改善(担い手確保にも関連して)に関する数値目標の指標」について
 - ・1月24日に行われる常任理事会でアイディアを集める為、12月28日までに「就労環境改善」について意見を募集。現在、男性の育児支援、女性復職率アップ、産休育休の取得率アップ等が出ている。
- (3) 今後の活動について
 - ・4月に若手建コンの全国大会の開催が予定されており、支部ごとの1年の活動報告及び活動計画について発表を行う。4月上旬に参加メンバーの調整を行う。